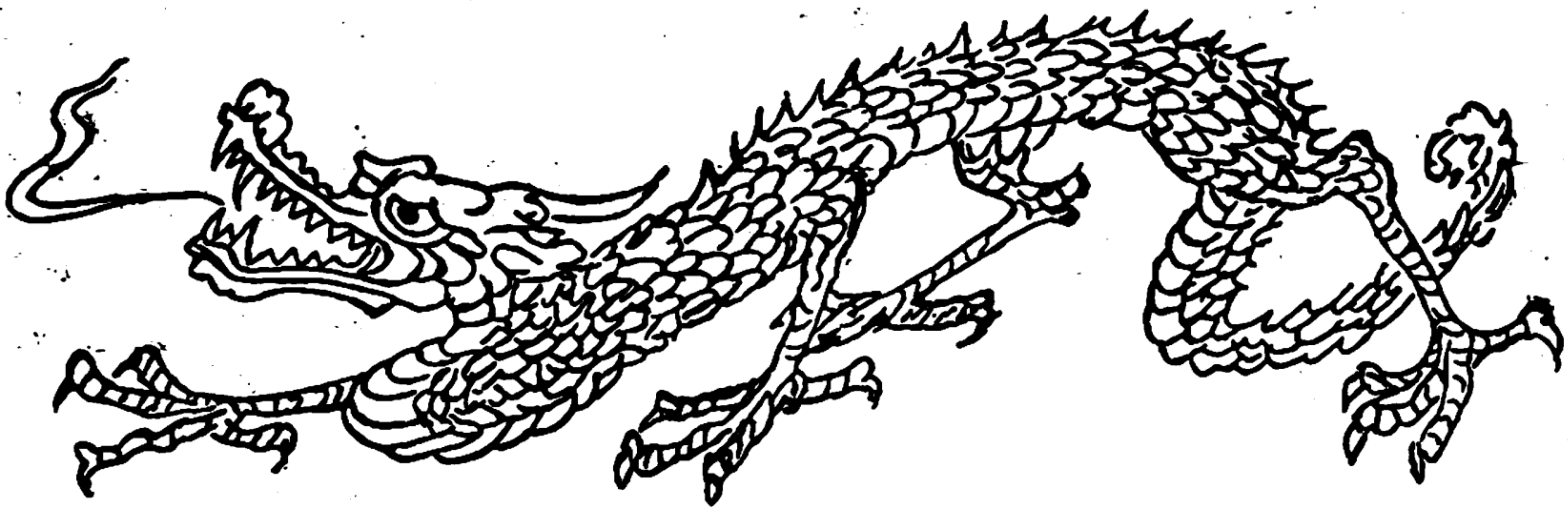
各種社會問題之研究

滿洲之社會

乙丑八月號

第參巻第拾貳號

滿洲社會事業研究會



鐵道
幹線 四三九哩
支線 二五六哩
受託經營 七九哩

炭礦
撫順 埋藏九億噸
煙臺 埋藏二千萬噸

製鐵
鞍山
鑛區十一箇所
鑛量三億噸

埠頭
大連
安東
營口
上海

倉庫
大連
地域約十萬坪
棟數七十七
野積地域
六萬五千坪
外ニ沿線三十二驛所ニ在リ

電氣
大連 奉天
撫順 鞍山
長春 安東
點燈 電鐵
諸工業運轉

水道瓦斯
大連 奉天
撫順 鞍山
安東
上下水道トモ殆ト沿線各地ニ普及

工場
大連
沙河口工場
電氣修繕場
遼陽
蘇家屯

教育
醫科大學(一)
專門學校(三)
中等學校(一五)
補習學校(四五)
小學校(三二)
公學堂(一〇)
幼稚園(二六)
圖書館(一二)

衛生
醫院 二十二箇所
公醫派出 十五箇所

旅館
名稱 ヤマトホテル
所在 大連 星浦 旅順 奉天 長春

試驗ト研究
農事試驗場
中央試驗場
窯業工場
地質調査所
技術研究所

鮮滿案内所
東京 大阪 下ノ關

南滿洲鐵道株式會社

一資本金　壹億圓

一積立金　八千五拾萬圓

本店　横濱

支店　東京、名古屋、大阪、神戸、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北京、漢口、上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽、(一時閉鎖中)

出張所　西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカツタ、孟買、マニラ、スウラバヤ、スマラン、バタヒヤ、シドニー、倫敦、里昂、漢堡、布哇、桑港、ロスアンゼルス、シヤトル、紐育、リオデジヤネイロ、ブエノスアイレス

大連市大山通一番地

横濱正金銀行大連支店

電話　代表番號三一六一番
海關取扱所四七六二番
宿直專用六〇一五番

滿洲之社會＝第參巻第拾貳號（大正十四年八月發行）

●資本金　貳千萬圓

●諸積立金　貳百四拾參萬五千圓

大連市大山通十一番地

株式會社　正隆銀行

電話代表番號七一一一番

振替貯金口座大連二二〇番

頭取　安田善四郎

相談役　安田善次郎

●定期預金利子（一ケ年）七分

●當行は安田貯蓄銀行の代理支店として一般貯蓄預金を御便利に取扱申候

●當行は日本内地、朝鮮、南北滿洲、支那内地に於て約二千余の爲替取引先を有し候

●當行は關東州地方費現金並に大連市金庫事務取扱致候

●當行は臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候

支店（所在地）旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、天津、青島

出張所（所在地）公主嶺、哈爾賓

派出所（所在地）大連市小崗子（電話五二〇〇）、同市沙河口（電話沙河口一五番）、奉天城内

一、資本金參千萬圓

一、一般銀行業務並ニ大連市金庫事務ヲ取扱申候

大連市伊勢町六十九番地

株式會社 滿洲銀行

電話四一二一番

振替貯金大連三三三〇番

支店所在地

大連市山縣通、同小崗子、沙河口
金州、普蘭店、貔子窩、瓦房店、鞍山、奉天、
奉天小西關、撫順、本溪湖、安東縣、安東縣
興隆街、新義州、鐵嶺、公主嶺、長春、吉林

右ノ外內地、朝鮮、滿洲各樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

本店　東京市麴町區有樂町一丁目一番地

支店　〔大連、青島、奉天、哈爾賓、京城、釜山、大邱、
　　　〔大田、木浦、元山、裡里、沙里院、平壤、

出張所　間島

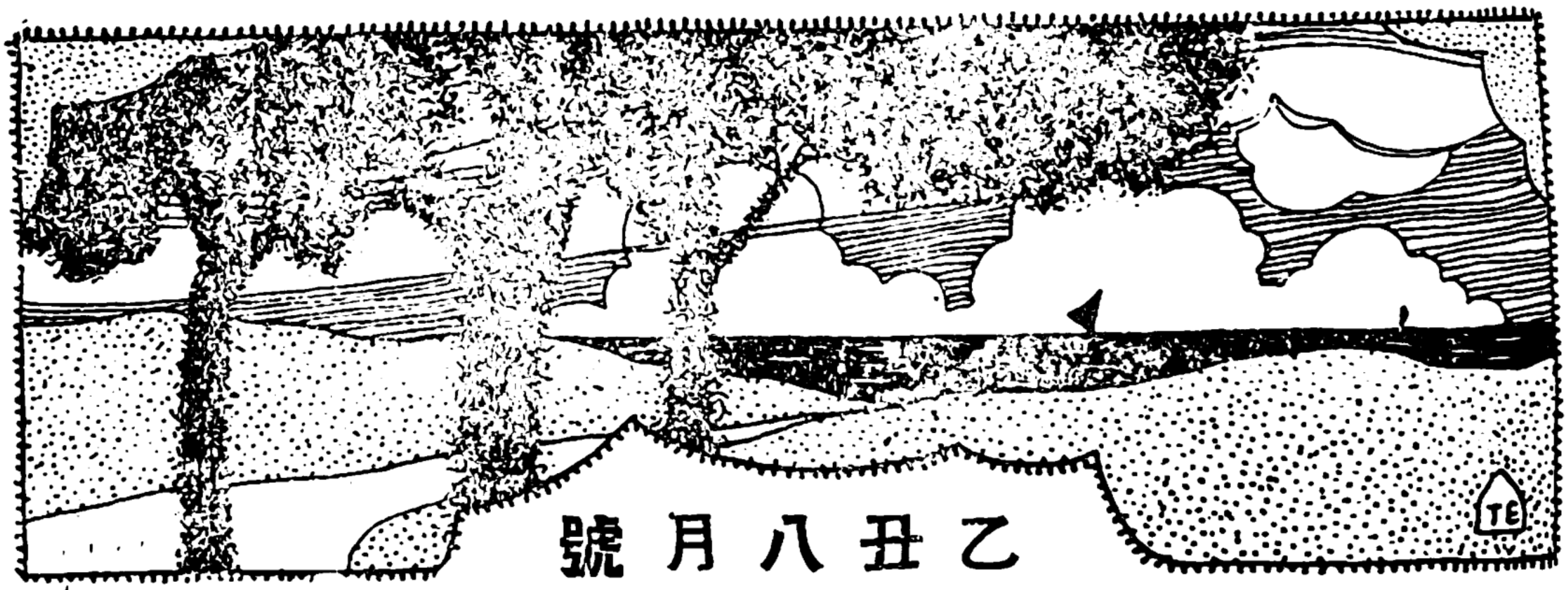
東洋拓殖株式會社

大連支店　電話（長）七一四七番
　　　　　　　　（　）七一四九番
　　　　　振替口座大連一九七八番
　　　　　受信略號タイレン、トタク

奉天支店　電話（長）六五七番
　　　　　　　　（長）三九七番
　　　　　振替口座大連一九六八番
　　　　　受信略號ホウテン、トタ

營業科目

一、拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ貸付
一、農業、水利事業及土地ノ經營
一、農業者ニ對シ其ノ必要ナル物品ノ供給及其ノ生産物品ノ分配
一、移住民ニ關スル業務
一、委託ニ因ル土地ノ經營及管理
一、其他拓殖ノ爲メ必要ナル事業ノ經營
一、定期預リ金



都市社會政策

都市は科學的、文化的、組織的にして生活に利便多きも、其の半面は物質的、機械的、享樂的にして生活に浮薄を伴ふ。人口の都市集中は此の半面の事象と相待つて都市を貧困、病魔、犯罪、不倫の巣窩と化せしめたり。都市社會政策は之が匡救を唯一の目的とし、而して之を基調とせる社會事業はその救濟、保護、善導、良化、防止を眼目とす。都市社會政策と之を基調とせる社會事業は要するに都市を健全なる樂天地となすが究竟の目的なり。

一言以て之を掩へば、都市は餘りにマテリアリズムにして、人爲の技巧と細工が勝ち、人間をその下積みにし、物質的に人間を壓迫して精神的に人間を殺害す。人間自らの智識と科學とは人間の最も大切なる愛と人間味を失はしめ、人間を機械と制度と形式の奴隷とし、その文化はまた人間本來の純眞を害ふ痲醉劑となりたり。現在の都市は此の一大シンボルに外ならざるを以て、內面的に進んで之を改めざれば、都市は遂に惡魔の殿堂とならむ。

生活に利便なる都市はその一面においてまた生活に危險なる場所なり。交通機關を看よ、そは如何にも便利なれど、縱橫に走る電車、砂塵を立て白煙を吐いて疾驅する自動車、けたたましき爆音を立てゝ行くオートバイ、何れかそれ危險の代物にあらざらんや。都市人の心は之がために苛立ち、神經質となり、物質的に不足なき生活を營むものも、焦燥、煩悶、苦惱の奴となりて其の心の曇らざるは罕なり。都市社會政策は之を救ふ一大福音なり。



經濟上の社會政策

山田芙峰

軍人上りの政黨首領によつて叫ばれた産業立國なるもの、それは無論一種の富國策に違ひないが、資本主義的經濟組織の下に在りて、その個人的自由と、利己的動機と、更にその專制とを放任しておいての産業立國は危險である。この産業立國がメリカンチリズムに傾くに至つて最も危險を感ずる。政治が既に立憲化し民衆化したるが如く、産業も今日はまた當にこれを立憲化し民衆化すべき時代であつて、そこに勞資協調の必要があり、進んでは産業そのものを一般民衆のために開放し、中産階級、智識階級、勞働階級の經濟的生活を向上せしめ、その福祉を增進しなければ、決して産業立國の目的は達せられぬ。社會政策に依つて國民生活の安定を圖るといふ眞意が政府にあるなら經濟上にも社會政策を適用すべきである。單に申譯的氣休め的に國民の氣に入るやうな御題目を列べ立てる丈では駄目だ。

經濟上の社會政策は多岐である。明治三十三年三月法律第三十四號を以て公布され次いで明治四十二年九月に改正された産業組合法は、中産以下一般民衆の産業と經濟を自主的に向上せしめるのが目的で、その組

合が信用組合、販賣組合、購買組合又は消費組合、利用組合の四種類より成ることは、世人の周知する所であるが、是れ取も直さず社會政策を經濟と產業に適用したものであつて、その民衆化を意味し、經營宜しきを得れば、自ら庶民の福祉を增進する。若しそれ勞資協調に至つては、既に概論しておいた通り、產業立國上最も意を致すべき要件で、經濟上における社會政策として殊に重きを措くべきものだ。企業家又は事業主の代表人と勞働者の代表人とが圓卓を圍んで水入らずに隔意なく相談的に協議する米國のテウントテーブル式なるもの、勞働賃銀、勞働時間、待遇、その他勞資間に横はる種々の利害問題を平和的に解決するを以て目的とする英國のショップコンミッテー、是等はいづれも產業を立憲化し民衆化したものであつて、斯くせざれば勞働爭議を頻發せしめ、危險思想を瀰蔓せしめ、產業の眞の發達を期待し得られぬのみか、遂には恐るべきレヴオルションを招徠する虞がある。我が政府も大勢に引摺られて勞働組合法案や勞働爭議調停法案を議會に提出すると云ふ時節柄、日本の事業家も英米における勞資協調の傾向に鑑みて速に自らその策を立て、以て資本主義的專制より產業の立憲化、民衆化に移るべきである。

產業の立憲化を意味する勞資協調の外、米國においては勞働者自ら金融機關を設けて金權を掌握し、猶ほ勞働組合の手で勞働者のために彼等の貯金投資を有利に指導してゐる。啻にそれのみならず、米國の企業家又は事業主の內には、その會社の株劵を會社の現業員に分配し、既に市場に放出された株劵もこれを買取りて會社の現業員に月賦拂ひなどの便法で持たせる樣にして居るのがある。ニューヨーク瓦斯會社の如き、ア

メリカン電話電信會社の如き、ニユーヨーク・セントラル・ライン鐵道會社の如きがそれで、その結果、事務員、線路工夫、機關士などの株主が出來た。元來株式會社なるものは、廣く公衆より資金を蒐集して一箇の資本團を作り、その集積せる資本の力を以て事業を經營するのであるが、資本主義的經濟組織の下においては、無産者の株主たることは事實不可能で、有産者なれば其の會社の事業に直接關係がなくとも株券を所有することが出來、隨つて利益配當の恩惠にも浴し得らるゝ事になり、會社とその會社の事業に從事する事務員や勞働者との關係は却つて水臭いものになつた。此の弊を矯めんが爲め、上記の如き方法の外、英米兩國の會社の內には少額なる株券を發行して事務員や職工にこれを所有せしめて居るのがある。是等も産業民衆化の一例で經濟上における社會政策として頗る當を得たものである。

米國ニユー・ジャージー州商業會議所は今より四年前にその受託委員會で調査研究した事業の經營者とその勞働者との協力方法を發表した。それに據ると、勞資協調の方法は工場限りのものと産業全體に亘るものとの二ッに別れ、前者は老練家による人事の處理と工場代表の制度によりて双方の關係を圓滿にし、中には第三者を混ふる向もあり、後者は工場だけで解決の出來ない問題、例へば勞働者の經濟上の改善とか、勞働者の自己表現に關する機會の擴張とか、種々なる惡習の廢止とか、これ等の問題を産業上の凡ゆる問題と共に勞資協力の下に解決するのである。此の勞資協調の二ッの方法が完全に行はるれば、勞働爭議は或る程度までこれを喰ひ止め得べく、ストライキやサボダーヂの數を減じ、物騷なるデモンストレーションも減少す

べく、さうして産業も政治の如く立憲化し民衆化すると同時に資本主義的專制の弊を打破し、産業の上に人間味が加はり、産業の發達を促がし、謂ゆる産業立國の實が擧がつて來るだらうと思ふ。勞働組合を公認するのは可い、勞働爭議調停法を實施するのも可いが、更に進んで勞資協調の方法を工場と産業全體とに實行しなければ、産業立國の目的は完全且十分に達せられぬ。勞資協調は主として企業家又は事業主の自覺に待たねばならぬもので、彼等が頑迷固陋であつては、眞の産業立國は望まれない。資本主義的經濟組織の下に資本主義的專制の弊を助長し、産業界に一種のタイラントを發生せしめる樣なことで、どうして滿足に産業立國が出來やうぞ。アダム・スミス流の富國策は富の分配を不平均にして結局國を害ふに過ぎない。一時この富國策に熱中した英國も今や漸く目覺めて來た。我國も速かに覺醒せよ。

一體今日の文明社會は餘りに物質化し、機械化し、商品化し、形式化し、制度化した結果、何事にも概して人間味が薄くなつた。政治界然り、教育界然り、經濟界も亦然りである。それは人間よりも人間の作つた機械や形式や制度を重んじて人間と人間との接觸を輕んじ、その關係を間接的にし、主體たる人間を客體たる物質の下に壓迫すると云ふ冠履轉倒を見るに至つたからだ。資本を重視してその資本を活かす人間の力を輕視するところに資本主義の病根があり、勞働者を商品視し奴隷視するところに資本主義專制の弊が生じたのであるから、工場内に人事相談部を設けて從業員の人事を老練家に掌らしめ、また事業主側のものと勞働者側のもの卽ち人間と人間との直接交渉によつて事を決める樣にすれば、機械化、商品化、形式化の弊を匡

救すると共に、資本主義の病根を除去し、資本主義的專制の弊を打破し、そこに人間味が加はり、產業の民衆化が自ら庶幾されるわけである。斯うすれば貨幣至上主義の迷夢を攪破することも出來る。經濟上における社會政策は兎角マテリアリズムに傾き易い產業界に人間味を吹き込むのが目的で、こゝに人間味が溢れる樣になれば、今日の機械的物質文明の流毒も餘程薄らぐであらうと思ふ。

それから產業上の社會政策として注意すべきものは產業福利施設、福利增進施設、企業福利、我國でいふ福利施設の事である。この福利施設なるものは、專門家の團體であるイギリスの福利事業協會の發表した意見によれば、一は勞働者に物質的及び精神的の慰安並びに幸福を與へ、二は仕事と責任の割當の上に勞働者をして最善の能力を發揮させるに足りる十分の機會を與へ、三に勞働者の一切の性能並びに能力の發展に關する手段を講ずることで、法律的、命令的、强制的、義務的でなく、任意的、合意的、德義的に一般の勞働條件以外に爲すべき種々の施設又は事業を指すと云ふのである。我國における產業上の福利施設も勞働者の健康、安全、幸福、能率に關する一切に亙つて相當に整つて居るやうだが、併しながら此間尙ほ多少の缺陷があり、殊に此の施設が單に企業家又は事業主の恩惠的施與若くは經濟的打算として行はるゝ傾きが多いのは遺憾である。この點を改めなければ折角の福利施設も徒爾となるだらう。

最近の最も進步した福利施設は事業主と勞働者との合意的協力によつて成り、從つて勞資協調の機關たる工場委員會の行ふべき仕事の大部分を含み、住宅、營養、敎育、慰安、娛樂、兒童保護等がその重なるもの

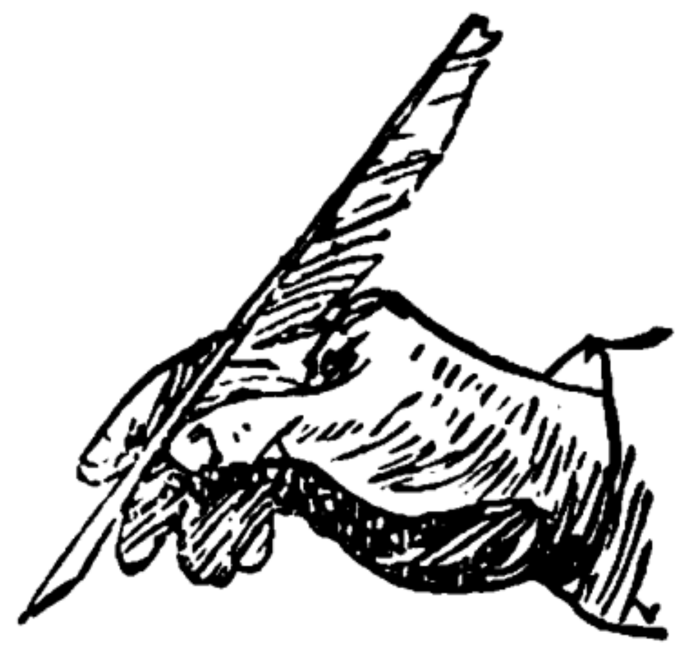
となつて居る。ドイツに於ては社會政策と福利施設とが常に相俟つて進み、福利施設は個人的又は社會的に將た道德的又は宗教的の方面にまで進み、社會政策は專ら國家的、法律的、經濟的の各方面に向つて進みつつあるが、福利施設そのものは元來一つの社會政策的施設であつて、勞働者の個性の發揮と創造心の發展とがその活動の基本である。共濟制度、金庫制度、貯蓄制度、利益分配制度などを產業福利施設の中に加へる者もあるが、普通謂ふところの福利施設は日用品の廉價供給、住宅又は宿舍の設備、衞生、醫療、敎育、慰安及び娛樂、危害豫防、それから疾病、災害、老衰その他の扶助若くは救濟などであらう。要するに勞働者各個人の物質的並びに精神的福利を增進するのが產業福利施設の眼目である。

以上の外、經濟上の社會政策的施設として猶ほ中央市場、公設市場、フリーマーケット、廉賣所の如きものがある。生產と消費との間における種々の夾雜物を除き、その距離を短縮し、物價の低減を圖り、一般の消費生活を簡易なものにするのは、是等公益機關の目的であつて、經濟上の社會政策なるものが其處に多くの意義を有つのである。斯うして資本主義的經濟組織の下における各種の弊害を芟除し、その經濟及び產業を民衆化し、機械的、制度的、形式的となつた現在の物質文明社會に温かい人間味を加ふれば、始めて產業立國の實が擧がり、メルカンチリズムの垢の付かない正義と公理に立脚した富國策も行はれるのである。正義と公理、それが社會政策の骨子であり、之を經濟及び產業の上に行ふことに依りて、暗影の多い今日の經濟社會にも光明が射し、國民生活の安定も亦期せらるゝのである。

勞資協調

◆産業の二大要素である資本と勞働を結合させるには勞資協調と云ふことが大切だ◆然るに今日の如き産業制度の下においては資本と勞働を結合させる勞資協調よりも資本と勞働を分離させる勞資鬪爭の方がヨリ多く現はれる◆そこで政治の立憲化民衆化と同じやうに産業の立憲化又は民衆化と云ふことが必要になる◆英國のショップ・コンミッテーが夫れであり工場委員制度が夫れであり米國のラウントテーブル式なるものもまた其の一ツだ◆世界の石鹼王と呼ばれた英國のレヴアーヒユーム、米國の自動車王ヘンリー・フオード、英國の實業家ビ・エス・ラウントリーの如きは産業立憲制度の下に勞資協調を實行した人々だ◆資本も勞働も力であるが此の力を活かすのは人であるから勞資協調は今日の産業界に絶大の力を有つてゐる資本家の覺醒がその先決事項であると云へる◆覺醒した資本家は勞働者の人格を認め勞働者の代表人と隔意なく産業上並びに勞資双互の利害問題を討究し決して獨斷的專制的の事をしない◆彼等はタイラントで無い封建政治が滅びて政治上にタイラントの姿を沒した今日産業上にタイラントを發生せしむるの不合理なることは彼等も能く知つて居る◆彼等は産業の立憲化又は民衆化によつて勞資協調に勗めて居るばかりでなく會社の株券を勞働者にも與へて利益分配主義を實行してゐる者がある◆米國のニユーヨーク瓦斯會社は一九二二年その使用人並びに得意先に同社の株券を提供したが過去三年間において其の株主となつた者が使用人で一萬一千三百四十五人、一般消費者で二萬五千八百四十四人に達したさうだ◆ニユーヨーク・セントラル・ライン鐵道會社でも從業員に六萬八千の株券を提供したがその買取方法の如きも使用人の便宜を計り一箇月五ドルの月賦拂ひとしたので事務員や線路工夫や機關士なども株主になつた◆アメリカン電話電信會社では同社の株券を使用人に分配するに止まらず市場における同會社の株券を從業員のために買ひ取つてそれを持たせる樣にして居る◆斯うなると賃銀奴隸と云はれる今日の資本主義的産業制度の下における勞働者もさう〳〵喧嘩腰ばかりも出來ず從つて勞資鬪爭が緩和されて勞資協調が行はれる樣になる◆勞働者にも株券を所有させて事業の益金を

分配する事にすれば勞働者の事業に對する興味と熱心が加はり能率が進み資本と勞働の二ッの力が人格的に結合する樣にもなる◆然るに資本主義的產業制度の下に資本と勞働の二ッの力を人格化し產業を立憲化若くは民衆化して勞資協調の實を擧げてゐる事業は今日猶は甚だ僅少である◆前記の如き覺醒した資本家又は事業家は英米においても稀に見るのであるから况んや東洋においては現在のところ先づ絕無といつて可なりだ◆時には封建政治の下に暴威を振つたやうな一種のタイラントが產業界に出て來て成金ぶりや橫暴ぶりを示すこともある◆斯んな者が出るので勞働者の反感を唆り彼等を益々喧嘩腰にならしめ勞資鬪爭を激成し而して過激の社會主義的思想や無政府主義思想を瀰蔓せしめ斯くて產業界を危機に導くのだ◆ギー・デイ・エッチ・コールは『產業再建原理』を說き利潤生產の代りに效用生產を採れと論じ事業公有制度を述べて居る◆個人主義的自由思想の下に發達した今日の資本主義的產業制度は少數者に富を獨占せしめ資本主義的專制の弊を作り產業界にタイラントを發生せしめたから效用生產のための公有制度も必要だ◆事業に依りては之を個人の私有とせないで國家又は社會の公有とすべきで斯くすれば資本主義的專制の弊を打破し勞資協調の實も擧がるだらう◆株式會社の事業は元來公有的のものであり從つて社會的であり民衆的であらねばならぬのだが事實はそれを裏切つて少數者が富を獨占し又は搾取して居る◆そこに資本主義的專制の弊が生まれ而してその少數者の富が社會的に善用されないで利己的に情實的に惡用されるので益々弊害のみ多くなつたのだ◆旁々產業制度も產業組織も今日はこれを改革せねばならぬ時代で軍人上りの政黨首領によつて唱ひ出された日本の產業立國なるものも此點の考慮が必要だ◆言語、風俗、習慣の異なる日支兩民族の經濟的結合は動もすれば意志の疏通を缺いで利害の衝突を起し易いから一層勞資協調に努めねばならぬ◆英國のショップ・コンミッテーに類した勞資協調制度は大正八年鐵道院で首めた國有鐵道現業員委員會を始め他にも無いではないが我國の勞資協調制度はまだ滿足なもので無い◆滿鐵あたりでも時代の傾向に鑑みて勞資協調の產業的立憲化又は民衆化に注意を拂ひ勞資間の鬪爭を緩和すべきであらうと思ふ。



資本課税論

佛國社會黨領袖　レオン・ブルム

（一）

資本税は我が社會黨の主張に係るものであるが之を以て必然的に我が黨派の平素より抱懷せる社會主義的理想より割出された新施設なるが如くに解釋するは大なる誤謬である。吾人は決して此の税制を以て我黨の主義信條を反映し居るものとは思はぬ、それは今日我が國が面接し居れる重大なる財政上の危機より何とかして我が國民を脱せしめたいと云ふ國家的精神の發現に他ならない。世の論者は謂ふ、社會主義者は平素より資本主義延いては資本主義的財産制に反對するものであるから、今日の如き財政上の危機を利用し、多年に亘る自己の理想の一端を實現しやうと思つて居るのであらうと。然し吾人は資本主義財産制が斯くの如き斷片的施設を以て消滅すべしと信ずるほど世の實情に疎きものではない。

資本制度の心髓の存在する限り、一切の部分的徴收なるものは單に富の移轉を爲すに過ぎず、また個人間に新たに富を分配するに過ぎざるものなることは、吾人の夙に知悉せる所である。獨り之に止まらず、從來資本税の必要を唱道せるものゝ大部分を見るに、何等社會主義とは關係なき人士であつたことに注意するを要する。殊に大戰後英國の藏相たりしボーナー・ロー氏の如きは、資本税と過剩收入税との二者中、その孰れを採擇せんかに就き大いに迷つたことがあるが、熟慮の結果、遂に後者を採擇するに至つた。然るに其後に

於ける英國財政の沈滯情態並びに失業者の增加は明かに彼の措置の過誤であつたことを證した。彼が實に保守黨の首領たりしことはこゝに斷はる迄もなく何人も知る所である。要するに吾人の唱ふる資本課税の主眼とするところは、目下焦眉の急に迫れる佛國財政の窮境を救濟せんとするに他ならないもので、强ひて其處に何等かの社會主義的意義ありとして之を求むるならば、それは特殊的、利己的利益に反對して集團的、民衆的、公益的の利益を重視せんとする點のみであると言ふことが出來る。

（二）

吾人が一九二〇年始めて本税制案を提唱したのは、荒廢地復舊の爲めであつて、他日佛國を破産に導くべき借款政策を避けんとしたものである。然かも當時吾人が豫想せしが如くその後の歷代内閣の採れる借款政策は遂に今日見るが如き危險なる財政情態を招致せしむるに至つた。吾人が企圖する所の革命なるものは斯の如き經濟的破産でない。之がために齎らす混亂情態は徒らに勞働階級を苦しむるに過ぎないから、何とかして目下の財政的病患を醫し、以て國民に再生の力を與へねばならぬ、而して是れ吾人の眞の義務なりと思考し居るものであるが、資本税こそは此の場合における最良の手術であつて、之が爲めヨシ一時は私有財産を減少することがあつても、其後に於ては却つてそれを鞏固にし且增加すべきことは疑ふの餘地がない。今一九二五年度の分のみに就いてこれを見るも、此の七月以降滿期に達すべき我が國庫の負擔額は二百億法に達する、而して該公債所有者の大部分は恐らく借換へを承諾するか又は愛國公債の交附を受くるかの孰れかとなるべく、一小部分の者のみが償還を申出づることありとすれば、それのみにても今日の如き國庫であつては如何とも爲しがたき情態に在るのである。また一方の愛國公債に就いて見るも月々滿期となるもの七十億

乃至九十億法に達する現況である。從つて今後引續き二三箇月間に此等の公債所有者の一部分が償還を求むることあれば之れに對しても國庫は如何とも爲し難き寔に憐れむべき情態に在るのである。故に此等公債の償還に應ぜんが爲めにも佛蘭西銀行に是非とも前貸を求めなければならない。

（三）

事情斯の如くであるから之に對する解決方法は極めて局限せられて居る。則ちその一はブロック●ナショナルが過去五年間に實行し來りしが如き借款政策で、それよりそれへと新借款を以て滿期公債を償却して行く方法である。その二は銀行劵の增發、その三は吾人の主張するが如き資本税賦課に依る財政立直しの方法である。先づ第一の方法たる借款政策を檢するに、その是非論を離れても、最早今日において之を實行することは不可能なる狀態に在る。則ち一方國家の借款能力は皆無に歸し居るのみならず、縱令然らずとするも事業の擴張、物價の昂騰、流通資金の缺乏等に依り必然的に償還請求を多からしむる結果を招徠することは疑ひないからである。爰においてか解決方法としては第二の通貨の膨脹と第三の資本税賦課とを除いて他に求むべからざることを知り得るであらう。然らば此の二方法のうち孰れを採るべき乎。

吾人の見解に依れば、抑も通貨の膨脹なるものは最も殘酷にして且つ不正なる一の資本税賦課に他ならない。例へば戰前の利子生活者にして其後の通貨膨脹の結果資産の減少を來したる者に就いて見るに、甚だしきは原資産の八分の七を失ふことを餘儀なくせられた者すらある。その他各種公債に應じたる者、不動產や株劵、鐵道社債、市債等を有する者に至るまで、一として通貨膨脹の結果その資産の減少を來さゝる者とてはない。然も斯る影響は獨り此等の資産所有者の上のみに止まらず、一切の俸給生活者、勞働者、使用人等

の上にも均しく及ぶのである。蓋し彼等の收入は通貨膨脹の不可避の結果たる物價昂騰には常に遲れて且不完全に追隨するものであるからだ。加之右の如き收入の減額を餘儀なくせらるゝ者は、利子生活者、小資產所有者、勞働者等の中流及び下流社會に位する者に止まり、大なる資產を有する者に至つては、一方事業の經營、外國への投資に依り、他方生產費低減、義務的債務の減少に依り、或は內地消費の增加に依り、巧みに影響を脫するのみか、却つて富を增加することあるを常とする。吾人の目的は實に此の如き殘酷不正なる方法に代ふるに普ねく一般の資產に對し寬大にして公平なる直接の負擔を要求せんとするに在る。或る特殊の者のみを利し、一般國民を饑餓に陷れんとするが如き方法を排し、一時的の犧牲を拂ふことに依り、やがては公有財產と私有財產とを併せて確保し得べき方法を執らんとするに在る。

吾人は此の意味において資本課稅を提議するのである。若し吾人の提議にして採用せられんか、國家は多大の負債より解放せられ、豫算編成は容易となり、免稅、改革、公益事業に着手することを得べく、猶ほ爲替關係も著るしく緩和せられ、國民生活安定の域に達すべきや明かである。資本課稅のために世の資本が一時その十分の一を失ふことありとするも結局爲替の緩和に依り實際に於て十分の一以上の資產の增加を見るに至ることは容易に推知し得るのである。要するに吾人は全然黨派的感情を挾まず、社會主義に偏せず、純粹に國家的見地の上に立つて資本課稅の必要を提唱する次第である。

米國に於ける成人敎育（下）

田制佐重

三、社會中心運動

社會中心運動（Sosial centre movement）とは、卽ち學校を地方社會の中心と爲すの謂であつて、米國において最も特色ある敎育的施設と言ふべきものである。今その事業中特に成人敎育に關係ある部分を略述しやう

社會中心運動は今より二三十年前に起れるもので、大小都市を始め、農村にも行はれて居るが、殊に大都會に於ては第一にその日常生活が直接他人に親密なる交際を結ぶ必要なく極めて自由な所から、却つて孤立的傾向を生じ易く、第二に勞働者が比較的閑暇を多く有する所から、其の閑暇時を多く下等の娛樂機關に費す傾向があり、第三に階級間の反感、猜疑、爭闘が甚だしい所から、之を防いで社會奉仕と社交性との訓練を助長する必要があり、第四には成人敎育に特に注意すべき必要ある等の諸多の理由からして、社會中心事業が一層必要となつて來るのである。尤も社會中心を敢て學校と限る必要はなく、敎會やセツトルメントなども其の働きをなして毫も差支わないが、學校は飽くまでも民主的精神を以て一貫し、如何なる階級に對しても自由に開放せねばならぬ機關であり、また子女の敎育所たる處から其の父母兄姉にとつて特に一種の親みを感せしめる要素を有し、更に其の諸設備の點に於て最も完全であるといふ種々の理由から、特に社會中心事業に對して學校が最も有利有效であると言ふのである。農村地方に於てもさうである。加ふるに近來學校

の校舍及び諸設備を單に兒童のみならず一般の成人にも公開し、以て公共使用に供すべしとの議論が行はれ米國に於ては盛んに社會中心としての學校といふ呼聲が聞ゐる樣になつた。

社會中心としての學校の仕事は大體三種に分けられる。第一は成人の敎育、それに關聯して公開無料の講演及び講習、第二は娛樂休養の設備、第三は社交の機會を與ふる事である。第一の成人敎育は日中勞働の關係から夜間敎授に依つて行はれるが、米國にては百年前より夜學が行はれ、紐育市は千八百三十三年に無料の夜學校を開き、專ら成年男子の敎育を行つた位で、同四十八年には成年女子の夜學をも開き、更に同六十六年夜間中學校をも開いた。又ボストン市は後れて千九百二年に初めてそれに着手した。米國を通じて千八百八十一年に夜學を開ける都市は三十二、千九百年には百六十五、千九百〇九年には二百三十三に達し、五年每に約四割の增加を示し、而して千九百〇九年に於ける在籍者は約四十萬人であつた。此の夜學校に入れる成人は、第一に滿足に初等敎育を受けざるものが總數の八割五分を占め、第二に初等敎育を終り又は中等敎育を多少受けたものが、或はカレッヂ入學の準備のため、或は技術及び業務の練習を受けるために入學し第三には勞働に從事する成人にして特に專門事項を學ばうとして入學するのである。因に千九百二十一年六月を以て終る一年間の紐育州公立小中學校の夜學在籍者は廿四萬五千人であつた。

次に無料公開講習も紐育市が先鞭をつけたばかりでなく最も盛んに行つてゐる。紐育市には敎育局に視學課と同列に位する公開講習課が置かれ、講習に關する設備は一切此の課の仕事に屬し、其の報告は市の敎育局に提出されるのである。千八百八十八年の紐育州法には「敎育局は有爲の講師を聘して公立學校に於て男女勞働者の爲め自然科學及び諸種の學課に關する夜間講演を開催する權能を有す」とあり、更に聽講の無料たるべきことを規定してあつたが、千九百〇一年に至り之を改正して「敎育局は紐育の一般公衆の爲めに無

料講習及び教授課程を維持するの權能を有す」とされた。千九百十一年の如きは、紐育市内に於ける百七十七個所の講習會に出席せる聽講者九十八萬七千三百四十六人、講習及び講習の題目實に千八百餘に上り、講義には多く幻燈等を使用した。圖書館を盛んに利用することも亦此の事業の特色となつて居る。紐育市に於ける此の講習の創始者ヘンリー●ライブチガー博士は「勞働者は成人教育を以て自己の智識慾を滿足せしむるための刺戟劑と看做し、其處には自己の住む社會の廣き見識を造る、文學に現はるゝ最善の人物は彼等勞働者に極めて善良なる感化を與へ、之がために彼等の人格を陶冶し、彼等の日常の業務は之れが爲めに自ら神聖なるものとなり、彼等が科學や藝術に接する結果は、新たなる歡喜の情が彼等の生活に浮び來る、而して彼等は眞の幸福は財産より生れずして絶好なる藝術品と雄壯なる自然美とに對する同情心から生るゝものなることに氣付くであらう」と言つて居るが、これは實に能く此の教育事業の眞價を傳へ得たものと言ふべきである。尙ほ娯樂中心としての學校及び社交中心としての學校の事業も頗る興味ある問題であるが、玆にはこれを省略し、千九百十五年の米國教育局の調査によれば、學校にて何等かの社會事業を試みる都市は米國を通じて六百〇三個所、其のうち百二十市は社交中心、二百八十九市は講習會、二百九十四市は雜種の活動を試みてゐるといふ事である。併し實際はこれよりも餘程多いものと思はれる。

四、現時新興の勞働大學

千九百二十一年四月紐育市に於て合衆國勞働者教育總會が開かれたが其の結果として米國勞働者教育局(Workers Edwrational Burean)が設けられた。こは勿論米國勞働組合聯盟の教育行政機關であつて、私設のものではあるが、成年勞働教育の爲めに非常の貢獻を爲しつゝある。其の目的は「出來得べきあらゆる方

法に依つて組合勞働者が遂行する敎育事業の聯絡と援助とに努むる」に在りと云ふのである。右の總會に附議された報告によれば、合衆國には現在二十二の都市に於て二十三個の勞働者敎育の實驗が行はれて居るといふ事であるが、その實驗の多くは僅々過去二年前に着手せられたものである。此の實驗中、十五個は中央勞働團體、地方勞働組合並びに國際勞働組合の保護の下に在り、他の八個は州勞働組合の保護の下に置かれ而して二十三個は何れも社會主義及び急進主義の團體、大學及び女子勞働組合同盟の保護の下に置かる。又右の總會に報告された勞働學校在籍者總數は四千六百七十八である。實に此種の新勞働者敎育は、前節及び前々節に擧げたる如き初步的のものではなく、進んで人間としての高尙なる文化敎育の惠に浴せんとするものであり、また一定の主義の下に立てるものなることを看過してはならぬ。

米國敎育の發達史上に於ける勞働團體、又は勞働組合の貢献に就いては一の興味ある考察を下し得べきも之れも省略する事とし、專ら最近の事實を述べることとする。扨て米國においては最近上述の如き勞働者敎育に對して新なる觀念と施設とを見るに至つたが、委しく言へば、こは直接に勞働組合の管理及び維持に成る勞働大學そのものである。「これこそ實に勞働者敎育の中核である、卽ちその敎育は勞働組合の資金を以て維持し、敎師はその仲間と化し、敎育の方法は討議、學科は社會的諸科學、敎育の目的は人生の理解と社會の改造とにある、若し此の理想を缺かば成年勞働者の敎育は空漠無力のものとなる」と宣言されたのも當然である。此の勞働大學の目的を具體的に言へば、第一に勞働組合の指導者たるべき少數の男女の養成、第二に一般勞働者に對して社會的並に市民的敎育を施すこと、第三に文化的敎育及び半ば娛樂的なる敎養を一般勞働者に與へることに在る。第一の目的に達する方法としては、少數の指導者の爲めに小なる學級を組織し各學級の間に完全なる聯絡を取る樣にし、さうして緊張せる敎授及び硏究を行ひ、第二の目的に對しては多

少の智識的敎授の方法を採り、第三の如き大多數者に對しては、半ば娛樂的休養を主として、智育の外、情操及び美的思想の涵養を計り、別に嚴めしき敎育を施さない樣にして居る。

米國現時の勞働大學は英國の先例を追ふて發展せるものと見らるべく、其の講習課程も英國のそれと同じく主として大學出身者の敎授にかゝるものであるが、唯それが純粹に勞働組合の維持管理に屬する點に於て英國のそれに比して一層徹底的である。米國に於ける勞働大學の先驅をなせるものは紐育市の衣服勞働組合のそれである。これは此の組合が常に進歩的思想を有し且つ組合員の多數を占むる露西亞系猶太人の勞働者が旺盛なる智識慾と潑溂たる向上心とに燃へてゐる爲めである。國際婦人衣服勞働者組合は千九百十四年に敎育事業のために千五百弗を支出し、ジエリエット・ポインツ孃の指導する第二十五地方組合もこの種の敎育事業を起し、また聯合勞働敎育委員會は千九百十八年に組織され、其の主要なる後援者は留針勞働組合であり而して米國合同衣服勞働組合は合同されたる約二十個の組合中の最大なるものであり、隨つて權威を有つてゐる。尙ほ此の合同組合は聯合勞働敎育委員會とは獨立に最近勞働者敎育所を設立した。

以上の紐育市に於ける勞働大學運動は他の衣服業中心地たるロチエスター、クリーヴランド、フイラデルフイア、ボストン、シカゴの諸市に波及し、夫れ〴〵勞働大學の設立を見るに至つた。千九百十九年四月創立のボストンの勞働組合大學は主として純粹米國人の勞働者より成れる組合員が敎授を擔當してゐるので特に有名である。之に倣ふてシカゴ勞働聯合及び婦人勞働組合同盟は其の保護下に在る勞働大學の學級を敎授するに至つた。ワシントン及びシヤトルにも勞働大學が設けられ、更にボルチモーア、ピッツバーグ、ミルオーキー、デンヴアー、サンフランシスコ、ローサンゼルス及び其他の大都市にも出來た。ペンシルヴエニヤ州勞働聯合の敎育部はフイラデルフイヤ、ピッツバーク、ハリスバーク及び附近小都會地に於ける勞働大學

の學級を維持經營してゐる。尙は英國に於ける補導學級（Tutorial Class）と同じき學級は最近アーモスト大學の大學敎育擴張部に依つてマッサチユッセッツ州ホリオークに於て開始せられ、更に昨一九二四年四月一日シンシンナチ大學の大學敎育擴張部も亦同じく補導學級をウットワード中學校の校舍に於て開講した。これらの勞働大學の中、五六の都市に於ては其處の公立學校又は公立圖書館内に設けられ、其の敎師は無給又は有給であつて、主として公立學校の敎師が勤めて居るのもあり、又他の都市に於ては其處の勞働會館にて講義が行はれ、ローサンゼルスの如きは市の敎育局の人々が敎授を行つて居る。然し勞働大學の多くは大學の敎授が勞働組合の招聘を受け勞働組合の代表者との合議の下に講義を行ひ課程を定めるのである。但し敎育の維持、管理、經營は一般に一箇又は一箇以上の勞働組合がそれに當つてゐる。

勞働大學は、英獨等に於ける勞働大學と同じく、單なる職業敎育を施すことを主眼とせずして、寧ろ人生の何たるかを理解せしめ、社會生活及び經濟生活の組織及び發達を知らしめんとするのである。故に學課の如きも經濟學、住宅問題、勞働組合及び勞働立法の歷史、近代史、商業學、法學、公民科、哲學、討論及び國會議事法、演說、英作文及び英文學、體育、保健、娛樂等であつて、算術、化學又は工藝、家事等の如き實地の職業に關係ある學科は上記の諸學課の敎授よりも少ない。敎授ぶりは流石に專門家だけあつて巧妙であり、勞働學生の自由討議を極度に許し、又普通に敎授は夜分二時間行はれ、初めの一時間は講義、次の一時間は討議に宛てゝゐる。敎師は先生といふよりも友人又は案內者と看做され、獨斷的の言說を避けて合理的協同的に討議推究するに努めて居る。敎授する事柄も、他の大學が强制的に規定して學生に課するが如き專斷的な風なく、寧ろ勞働學生が一般に學ばんと欲する如き事柄を敎授するやうにして居るから、勞働學生は眞に其の大學が自分等お互のものであると感じ、そこにまた言ふべからざる親みと誇りと懷かしみとを有

つてゐる。而かも米國に於ける勞働大學の現狀は、猶は未だ其の實驗期に在るものであつて、其の進步發展の公認せらるゝは寧ろ之れを今後に期せねばならぬのである。(完結)

世界の結核豫防事業（下）

滿鐵衞生課長　醫學博士　金井章次

三、サナトリアム及療養所の補助機關

(イ)保健相談所　歐米に於ける結核撲滅策は實驗上補助機關がなければ豫期の目的を達成することが出來ないことを明かにした。世人は普通結核を隱蔽せんとするの傾向を持つて居る。又結核そのものゝ初期が動もすれば看過せられ易い特徵を持つて居る。貧民階級に於ては健康上の異常不和を認め乍らも、チブスや赤痢と異つて、兎角一日一日と醫師との接近が遷延される。斯樣な諸種の關係が錯綜して結核の輕症者は治療の效果を收め得る初期時代を空過せしめる。又サナトリアムに於て一旦治療して退所した者も、再び舊時の不良なる生活狀態に復歸する爲め、病狀再發して、サナトリアム又は療養所に於て受けた治療の意義を消失する者が多い。之等の缺點を補ふ爲めにサナトリアム又は療養所等には補助機關の助力を必要とするこの補助機關として最も成功したものゝ一つは保健相談所である。內容と組織とに於て多少の相違こそあれ今日英米佛獨白等の各國に於て其の設立の見ない處はない。

英米に於ける保健相談所は普通一二名の醫師と數名の家庭衞生婦とを以て一團とし、下層勞働者の群居する部落に設けられ、事業としては早期診斷と簡單なる治療を爲し、患者に對する種々なる教訓及び指導を與へ、併せて患者の一身上の面倒をも見るのである。尙ほ社會的教育事業として結核に關する各種の調査を行ひ、時々講演等をも行ふのである。相談所々屬の家庭衞生婦は、親しく患家を訪問して諸種の注意を與ふると共に、患家の人々に健康診斷を受くることを勸告し、殊に乳兒、幼童等に對しては特別に留意し、感染の虞ありと認めたるもの或は素質者の兒童はこれを特設されたる林間學校、海濱學校、開放學校等に入學せしむるか、若くは田園の健全な家庭に移して保育せしむるやう勸告するのである。

相談所は佛國のカルメットの創意に成つたもので主として佛白兩國に於て發達した。獨逸に於てはビユーテルが前記兩國を視察の結果效果の顯著なるを看破して之を自國に輸入した。尙ほ歐米には保健相談所に家庭衞生婦を置き、巡廻せしむる代りに勞働組合等と聯絡せしめ、更に世話役なる者を設けて事業の進捗を謀つて居る處もある。大阪の社會事業に於ける方面委員に一致したものである。

歐米に於ける保健相談所の發達は實に顯著なるものがあり、隨つてその効績もその發達と共に著しきものがある。最初サナトリアム或は療養所等の補助機關として設置されたるものが今日に於ては何れが主であり何れが從であるか殆んど之れを判定するに困難なる程に發達してゐる。

保健相談所は結核豫防事業の先頭に立つて直接社會と接觸する第一線である。醫療と衞生に關係ある一種の社會事業として意義あるものである。此の故に早期の患者を發見するに努め、適當なるものは之をサナトリアムに送り、危險なるものは出來得るだけ隔離の目的を達成するに努め、素因者は林間學校、海濱學校等に入學せしむる等、結核豫防の眞目的を遂行すべく不斷の努力を拂つてゐる。

（ロ）林間保養所及び患者ホーム　サナトリアム及び療養所の補助機關として生れたる第二のものは保養所、患者ホーム、聚落等である。結核患者が日常の業務に就くことの出來ぬのは最も苦痛とする處であるが、殊に經濟上の事情と相俟つて、保養の必要を認めながら長期に亘るサナトリアムや療養所等の治療を受くることを不可能ならしめて居る。茲に於てか、サナトリアムから退所した後、多少の就業能力ある者に對しては簡單なる手業等に就かしむる設備を爲し、一面治療保健を爲すと共に他面に於ては就業慾を滿足せしめせねばならぬ。是れ實に必要なる事である。或は又サナトリアム等に入所以前の者に對して同樣の目的の爲めに斯の療養所なり患者ホームなりを利用せしむることもある。

斯の種の施設は權威ある專門醫の監督の許に置かしむるのであつて、前記の保健相談所、サナトリアム療養所、病院等と密接なる聯絡を保たしむる必要がある。由來結核症の治癒は初期を除くの外は少數であつて多數の者はサナトリアム、療養所、患者ホーム等に收容さるべきものである。而も社會の上下に瀰漫する結核の全部に對し上述の諸設備を完成することは經濟上の負擔に於て堪ゆる所でない。

近來林間學校、海濱學校、開放學校、溫泉學校、プレペントリアム等の發展の著明であるのは、それが本來の目的から多少遠ざかつて居るにせよ、兒童の體質改善といふ點からして結核豫防上に相當の效果あるものと考へられる。兒童問題と共に併せ考ふべきは結核性姙婦及び產婦の問題である。姙娠及び出產が母體の結核に對し直接の危險たるは無論であるが、或は結核の素質ある子孫を產み、或は產褥時に兒童に感染せしむる等の危險も多い。從つて結核豫防上には兒童の保護と共に姙婦產婦の保護法が講ぜられねばならぬのである。結核豫防上から見た一般健康者保護の問題、即ち都市の衛生設備及び工場、勞働、榮養等の諸問題に關聯した事項に就いては他の機會に改めて論ずることとする。

英國にては一九一二年醫師に對し結核に就いて申告の義務を負はしめた。結核患者を診斷したる時は四十八時間以內に屆け出でしめ、尙ほ結核に關する週報を發行し、保健當局者に於て秘密に取扱ふことになつて居る。紐育に於ては結核を診斷したとき醫師は二十四時間以內に屆け出て、轉居又は死亡の際も同樣に取扱ひ、肺結核及び喉頭結核患者の住居した家屋は衞生吏員の監督の下に消毒した上でなければ他人に使用せしむる事を禁じて居る。普國に於ては肺及び喉頭結核の死亡のみに就いて屆け出と住屋消毒の義務を負はしめて居る。我が日本にては醫師に屆け出て義務はないけれども患者に豫防法を指示するの義務は負はしめられて居る。孰れが可いかは兎も角も周到嚴密なる注意を要することは當然である。

私は前章に於て結核豫防事業が結核菌の傳染に對する感染豫防の問題とは云へ他面に於て複雜なる社會問題であることを說いたが直接の問題として留意すべきは患者の咳嗽又は咯痰中に排出さるゝ結核菌の消毒法である。社會の一般は自家に發生した患者に就いては出來得るだけ之が隱蔽に努め而も他人に對しては出來得るだけ之を排除しやうと努めて居る。醫師と雖も患家の感情を慮つて患者の屆け出に要する義務を十度實行しない傾きがある。これ等は非常に間違つたことで、結核傳染の根源を除去しやうとするには、患家に於ける結核菌の消毒を徹底せしめねばならぬ。少しも躊躇するに及ばぬ。斯くして病者を發生せしめた患家自體は無論のこと轉居の際に於ける結核感染の危險をも除去すべきである。

斯くの如き消毒法を徹底せしむる爲には、患者の屆け出を行ひ、一定監督の下に消毒法を履することが大切である。之等の屆け出や消毒等は患家の感情を尊重斟酌して患者と保健當局者との間に於ける秘密嚴守の義務と同樣ならしむべきことゝ思はる。この邊には常識的の注意が肝要であると思ふ。之等の屆け出及び消毒の義務遂行に關する法律及び經濟上の事項に就いては豫め之が遂行に便ならしむべく考究し置くべきこと無

論である。以上述べ來つたところを一括して順序的に再説すれば左の如し。

第一　結核豫防事業の貫徹を期する爲には結核流行の狀態を精細調査するの必要がある。結核の流行が社會の實際生活と密接なる關係ある以上は土地、風俗、人情の相異に依つて流行情況が左右される。滿洲の如く日支人雜居し風俗習慣の錯綜交合せる地帶に於ては結核流行の情況に於てもまた自ら特殊の狀態あるべきを以て、調査研究を徹底的に明瞭ならしむる必要があると信ずる。

第二　豫防事業の徹底は獨り衞生當局、病院、サナトリアム、保健相談所、公私團體等の活動に俟つのみならず、一般社會に於ても衞生組合、方面委員、世話役等を設置して欲しい。是等團體の活動は結核豫防事業以外に一般の衞生保健事業にもまた緊要なものである。

第三　は保健相談所の設置である。サナトリアム療養所、病院等の補助機關として設置したる相談所が今日歐米各國に於て異常の發達を遂げ來つたことは既に之を説いた。滿洲には滿鐵會社に於て主要なる醫院を系統的に經營し、保健衞生事業の如きはこの醫院が略その中心を爲して居る現狀であるから、保健相談所の設置の如きも各醫院を中心として設置すべきものではないかと考へられる。

第四　はサナトリアムの設置だ。結核撲滅事業に於てサナトリアムを缺いて居ることは眞面目に考へたならば想像の出來ぬことである。滿洲に於て世人が結核を論じて居ることは既に年久しい。然るに結核治療のサナトリアムがない。設立の必要を力説することは既に時效に屬したもので今は單に時期の問題であると考へられる。但し滿洲に於けるサナトリアムは氣候及び風土に注意し適當地帶を選擇せねばならぬことは勿論である。患者の入退院等に就いては沿線の各醫院と聯絡する必要がある。サナトリアムの如きは適當なる地帶に存在する既設の醫院に於て兼營する方が最も便宜であるまい乎と思ふ。

第五　は結核病棟或は病室の設置であつて、この設置は各地方を結核より免れしめて清淨なる地域とならしむる意味よりして必要なのである。傳染病棟の一部なり其他消毒に便宜なる病室等を結核患者の爲めに解放することは從來とても沿線の滿鐵醫院において行はれて居つた。而して之等の設置は前記の保健相談所若くはサナトリアム等と密接に聯絡すべきものなることは無論である。

第六　結核患者の屆け出、この件は實現の困難なるものだが、併し結核の豫防を徹底せしめんとするには最も必要の事項と考へられる。その理由に至つては既に述べた處であるが、人情の機微、醫業の表裏等を充分に參照し、屆け出を忌避し若くは怠らしめぬやうに出來るだけ周到の注意を加へ、最も目的遂行に便宜なる形式を以て法律事項と相俟つて之が實施の一日も早からんことを希望する。

第七　前述の共濟組合及び學校衛生等より滿洲の結核を觀察するに、潛在性結核の所有者が滿洲に移住後發病したのではあるまいかと思推さるゝ例が多々ある。從つて滿洲に於ける各會社商店等が内地より從事員を採用する場合には自體防禦の觀念よりして出來得る限り新採用者に對する結核の有無を探求する必要がありはせぬ乎。又結核を感染せしむべき營業者の健康診斷等は出來得る限り勵行したい。

第八　一般世人は結核病の何物なる乎を知らず、之が治療方法並びにサナトリアム、療養所等の組織なり内容なりに就いても殆ど全く無智であるから、此の智識を宣傳普及せしむることもまた必要である。衛生當局、病院、結核豫防協會その他公私の團體に於て系統的に集注的に人類共通の大敵なる結核病撲滅のために結核豫防に關する智識の普及に努力せねばならぬと思ふ。

以上にて余は海外に於ける結核撲滅事業の必要なるを概略し併せて滿洲に於ける結核撲滅策の希望を略述した。有識人士の批判と助言とを衷心より希望するものである。

歐米の社會事業を視て（六）

關東廳事務官　藤田倶治郎

第十六　ボートサヌライト村を訪ふ

大正十二年（一九二三）五月十九日（土）午後一時三十分にグラスゴー市を發して夕方リバープール市に着いた。一旦下車してジエームス町停車場まで自働車を驅り河底を通ふ電車に乘つた。ロツクフエリー驛で一度乘り替へてビベルケンスヘツド、エンド、ロツクフエリー驛で下車すれば可いと敎へられた。似よつた驛名が二つあるので何處か何處かと心配しながら一心不亂に地圖と驛名とを讀み比べながら進んだ。不圖橫合から僕の腕を引く中年の婦人があつてそれが微笑しながら「次の驛ですよ」と敎へて吳れた。恰も日本內地の親切な而も賢い中年の婦人に出會つたやうに懷しく思はれた。

目的地に辿り着いたのはもう日も西に入つた夕方であつた。鞄を一つ提げて「橋の家」といふ小さい旅館があるといふので尋ねて漸く捜し出した。一夜泊めて吳れと賴むと、宅は普通のホテルでないので一室しかお貸しする室がない、而もそれは今或る夫妻の方にお貸して居るから、お氣の毒ながらお泊めすることが出來ないといふ挨拶だ。その中に日はバツタリと暮れる。他に宿る宅はないかと聞けば此處から一里ばかりのロツクフエリーには立派なホテルがあるからそれまで行けといふ。日は暮れる、道は遠し、困つたなアと思つて居ると、自分も恰度その方に行くから乘物のある所まで連れて行つてやらうといふ一紳士があつた。ヤレ

ヤレ。途々聞くとこの紳士の兄弟が日本に行つて働いて居ると云ふ。これが爲めに自然日本人に對して特別の趣味を有つて居るらしい。人情は何處の里も同じだ。乘合自動車でロックフエリーまで行き、ローヤル、ロックフエリー、ホテルといふ名のみは大きいホテルに投宿した。

明くれば五月二十日(日曜日)。今日は日曜日だから事務所などは見ることは出來まいが、兎に角ポートサヌライト村と云へば我國にまで聞ゑた模範的の田園都市だから、今日の一日は其の裡に過ごして、新農村の氣分を强か味ひたいと思つて、ホテルをぶらりと徒歩で出かけた。日曜日の午前中は電車も自動車も運轉しないからである。折柄九時頃であつた。ロックフエリーの市中を歩いて居ると彼方からも此方からも敎會の鐘の音がカランコロンと鳴響く。市中は寂として人馬の往來なく只衣を更め聖書をポッケットに納めて敎會に急ぐ男女の三々伍々が見ゑるばかりである。何といふ長閑な村の晨であらう。

三十分ばかり進むと もうポ村の端に着いた。村と云つても全く市街の形をなして居るから大都市の住宅區域に入つたやうな感がする。道路は隅から隅までペーブしてあるし、家々は美しい芝生を持ち、その芝生が自動車引込路まで附いて居るのもある。足の向くまゝにぶらりぶらりと市内を歩き廻つた。最初に目についたのは小ざつぱりとした敎會である。その裏手の所に一人の婦人の銅の臥像がある。一面には「最愛なるリーバー夫人の記念の爲めに一八五〇年四月四日生、一九一三年七月二十四日死」と刻み、他面には「彼女は只高尚な思想と愛らしい言葉と寛容な態度とを殘すためにこの世に來たのであつた」と鮮かに刻んである。前面には二人の女兒が坐した銅像がある。恰も臥像を衞つて居るかの如うに。蓋し逝いた婦人の遺兒であらう婦人の左手の指に嵌つて居る金の指輪は燦として光を放つて居る。生前用ひて居たものを移したのではないかと思はれた。逝いた夫人と云ひ作つた主人と云ひ共に床しい心持がする。リーバー氏は石鹼業で富を成し

た人で、下級勞働者に便利な住宅を與へ、新鮮な空氣の裡に一日の疲れを癒させたいと云ふ一念から氏が獨力でこの新村を作つたのだといふ。多くの整つた住宅を低廉な家賃で貸與して居る。

此の日は墓標が馬鹿に懷しいやうになつて墓場の中を右へ左へと廻つて墓標の文字を讀んだ。子供の墓標らしいのに「彼女は人の爲めに自分の生命を献げた、十一歲」とある。折柄向ふの方に一人の若い婦人が花を持つてその墓に詣でさうして水など献げ居るのが見ゐる。彼女が去つた後で其の墓標を見ると新らしい花崗石に「また會ふ日まで」と刻んであつた。何といふ相應しい而も床しい文字であらう。日本の一般の風習では人が死ぬると新たに六ケしい變つた名を付けて生前の呼び馴れた懷かしい名と取替へるのであるが此方では墓標に故人が生前よく使つて居た言葉とか愛誦してゐた格言など書き入れて故人を偲ぶに都合の良いやうに出來て居る。この邊は我國の習慣より一歩進んで居るやうに思はれた。

少し進んで行つたらグラッドストーン館といふのがあつた。日曜日であるから閉ぢてあつたが、玄關の上に「この建物は一八九一年十一月二十九日にダブルユー、イー、グラッドストーン代議士に依つて開かれた」と書いてある。この村の公會堂だ。その附近に村の出身で世界大戰に參加し名譽の戰死を遂げた勇士の記念碑が建つて居る。石の臺に「彼等の名は永へに殘るべし」と刻んである。圖書館もある。リーバー圖書館といふ問はずも其の設立者を知らるゝ。音樂堂があり、テニスコートがあり、雜貨販賣店があり、村の事務所があつて、その向ふにリーバー石鹼製造場が續いて居る。日曜日ではあるが午後二時になれば美術館が開くといふので空腹を忍んで時の來るのを待つた。この美術館はリーバー夫人美術館といふ。故夫人の記念の爲めに公開したことは問はずも知らるゝ。珍しい多くの繪畫彫刻を蒐集してある。世には折角蒐めた書畫骨董も一向人には見せず、自分一人で樂んで居るやうな者もあるが、リーバー氏の如くすれば、個人の行爲が社會全

般の生活と幸福とに交渉のある有意義の生活行爲となると思つた。

東へ東へと進んで行つたら悠々として千古に流るゝマーセー河畔に出た。對岸は卽ちリバープールの市街である。ポートサヌライト村はリバープール市とマーセー河を隔てゝ相對した廣大な新村を形づくつて居る僕は胸中無量の悲みに滿されつゝ河畔を上へ下へと逍遙した。(余の母は余の伊太利旅行中死亡した)。其處は廣々とした一面の芝生である。タンポポあり、クローバーあり、此方には白犬が戯れ、彼方には馬が徐に草を喰うて居る。空には雲雀が鳴き河の水は緩かに流れて居る。如何にも長閑な景色である。もう二箇月經つたら旅順に歸つて同じく長閑な滿洲の空を眺めることであらう。(妻へ通信の一節)

第十七　ベルリンの郊外植民

ベルリン市に汽車で出入する人はその郊外の汽車の沿道に澤山の小さいマッチ箱のやうな人家を見出すであらう。最初は蜜蜂の巣かと思ふがよく見ると人の住居である。そして各家必ず掌大の圃地を有して其處には野菜を作り果樹を植ゐてある。之はこの地の大地主が自分の所有地を小區劃に分つて市內に生活する下級の俸給生活者に賃貸をして居るのである。借主は之れに野菜を作つたり果樹を植へたりして、每日事務所から歸つてから、妻君と一しよに電車で出て來て丹念に野菜や果樹の手入れをする。歸るさには葱や大根を携へ歸つてそれを夕餉の食膳に上せ一家團欒の樂みを添へるのである。

數名の借主は一の倶樂部を作り、委員や委員長を選び、委員は交代に夜番をするし、各人の地代を取纒めて地主に支拂ふ役も勤める。之を稱して郊外植民といふ。獨逸人の自治心に富んでゐることは何人も知るところであるが其の自治の訓練がこんな所にも出來て居る。面白い工夫である。

不良青少年問題についての相談

大連の各婦人會へ社會事業研究會より

我が滿洲社會事業研究會は不良青少年に關する問題について七月十一日附を以て大連婦人會、日華婦人會、基督教婦人會（嬌風會）、關東婦人會、滿鐵婦人會、聖德婦人會、平和婦人會、國柱婦人會等へ向け左の如き相談を申入れた。

近來不良青少年がだん〳〵多くなつて來たのは寔に悲むべき現象で此の大連を初め滿洲の各地にも不良青少年の尠くないことは新聞紙の報道その他によりて皆樣の夙うに御承知のことゝ存じます之れは國家並びに社會のために等閑に附してはならぬ社會上の大きな一ッの問題であります。

何うして不良青少年が多くなつたか其の原因については物質文明の崇りであるとか都市に於ける浮薄なる文化生活のためであるとか家庭の不純なるがためであるとか家族制度の紊れた故であるとか社會組織の宜しきを得ない故であるとか色々な說もありますが其の原因のいづれに在るを問はず不良性を帶びた青少年には先天的のものよりも後天的のもの卽ち社會の濁つた環境に惡化されたものが多く之がために彼等の多望なる前途が暗くなるばかりでなく親兄弟を泣かせ他人に迷惑をかけ世の中に害毒を流すのを見ては何としても之を放つておくことは出來ません不良青少年のことが社會上の大きな一つの問題こなつたのは此の故であります。

こゝに一人の不良青少年が出るとする然る時はその一人の魔力に打たれて見る〳〵數人の不良青少年が出來上りそれが徒黨を組んで團結的に處女を誘惑したり金錢を詐取したり質の好くない惡戲をしたり甚だしきは傷害事件まで起すやうになります此の故に社會上の大きな一ッの問題として取扱ふべき不良青少年に關する事柄は一面現に不良化したものを強制的に感化善導し他面まだ朱に染まない青少年を彼等の毒手より免れしむべく種々の保護救濟策を講じ兩者相俟つて最善の努力を致さねばなりません前者の手段としては少年審判所があり感化院があり後者

の方法としては家塾制度などがあります英國では都會に集まり來る青少年を世の汚れと惡魔の毒手より免れしむるため各家庭に夥きは二三人多きは七八人の青少年を預かり親切に世話もし監督もして居ります血氣旺んにして思慮のまだ定まらない青少年を都會の濁つた空氣の中に投げ込み得體の知れぬ下宿屋などに住はせておくとその生活が放縱となつて次第に惡いことを覺え結局取返しのつかぬ不良性のものとなります之を救ふ道は學校の寄宿舍制度を改善するのもその一ッでありますが寄宿舍制度の完備を望み得られぬ以上は他に方法を講ずるの外ありません家塾制度の如きはその一ッであります。

御承知でしやうが東京には本野ヒサ子女史を會長に有馬サダ子、龜井ヒサ子、鳩山ハル子各女史その他多數の有識婦人を理事として生まれた少年保護婦人會なるものがあります此の婦人會は世の憐むべき少年を婦人の天分たる母性愛によつて社會的に保護救濟しやうと云ふのが其の趣意であります本國內地には少年審判所、感化院、家塾の外に斯様な婦人會まで設けられ學校と家庭との中間に立つて青少年の前途を誤らぬやう又不良青少年を發生せしめぬやう何かと熱心に骨を折つて居ります。

現代の種々なる社會問題には男子の手ばかりで解決の出來ないものが澤山あります其處にはどうしても婦人の力が加はつてその協戮の下に努めなければならぬ事由があります別して不良青少年に關する社會上の大きな一ッの問題については男子の力の外に是非とも愛に富んだ婦人の力を必要とします既にこの大連を初め滿洲の各地にも不良青少年が多くなつて來ました以上この地に住はれる御婦人方もこの問題について十分御研究なされ國家並びに社會のために又謂ふところの社會奉仕のために其の保護救濟策を講ぜられて然るべきものと思ひます。

斯様な理由よりして甚だ卒爾ながら皆様に御相談申上げ皆様の御意見を承はり皆様の御智慧を拜借して温かい同情の力に富んだ何等かの保護救濟策を立てたいと思つて居ります此の不良青少年に關する事柄を冷たい裁判所や警察署の手にのみ任かして置くのは大きな間違ひであります何うか皆様の思慮ある具體的御意見をお示し下さいませ。

× × × × ×



震災後の神奈川縣の社會事業

一記者

大正十二年九月一日に突如として關東地方を襲ふた大震災は稀有の悲慘事であつたが、殊に神奈川縣の慘害は劇甚であつて、社會的施設の如きも殆んど全滅の悲運に遭遇し、關係者をして一時全く落膽せしめた。然るに當事者等の献身的努力に依り災厄後一年有餘にして既にその大體を復興せしめたことは世人の驚異とした處である。這は一面現在の社會と其の社會の下に生活せる民衆の多くが如何に社會事業の必要を自覺せるかを窺知し得べき一證左といつても可からう。以下その概況を略錄する。

震火災の打擊は何の方面にも深刻であつたが社會事業の破害の狀況は左の如し。

△一般救濟……

濟生會神奈川縣病院(大破)　同上神奈川縣診療所(類燒)
同上神奈川縣診療班(大破)　横濱救護所(半潰)
横濱市療養所(全潰)　日本赤十字社神奈川縣支部常設救護所(全燒)

△育兒……

横須賀救濟院(全燒)
横濱孤兒院(半潰)　菫女學院(全燒)
鎌倉保育院(全潰)　四恩會育兒院(全燒)

△貧兒敎育……

私立平沼小學校(半潰)　私立隣德小學校(半潰)
私立惠華學院(半潰)　明德學園(全潰)
警醒學校兒童學校並に託兒所(半潰)

△保育……

横濱市富士見町託兒所(全燒)　同中村町託兒所(全潰)
横濱保育院(全燒)　相澤託兒園(全潰)
浦島保育院(全燒)　市立兒童相談所(全燒)
愛國婦人會兒童健康相談所(全燒)　佛敎少年保護會(全潰)

△職業紹介……

横濱市富士見町職業紹介所(全燒)　同櫻橋職業紹介所(大破)
同高島橋職業紹介所(全燒)　同中村町職業紹介所(全燒)
同萬國橋職業紹介所(全燒)　横須賀市職業紹介所(全燒)
川崎職業紹介所(小破)

△公營市場……

横濱市本牧公設市場（半潰）　同　西戸部公設市場（全燒）
青木町公設市場（半潰）　南吉田公設市場（全燒）
眞金町公設市場（全燒）　港町公設市場（全燒）
横須賀市公設市場（全潰）　匡濟會川崎町公設市場（小破）
同　鶴見町公設市場（小破）　横濱市中央食品市場（全燒）

△簡易食堂……

横濱市本町食堂（全燒）　同　中村町食堂（全燒）
同　萬國橋食堂（全燒）　匡濟會横濱社會館（小破）
同會川崎社會館（小破）

△公設浴場……

神奈川縣公設浴場（全燒）　横濱久保山公設浴場（小破）
同　齋藤分公設浴場（小破）　同　中村町公設浴場（全潰）
同　根岸公設浴場（全潰）　匡濟會川崎浴場（小破）

△公營質舖……

横濱市營質舖（半潰）

△公營住宅……

横濱市久保山住宅（半潰）　同　中村町住宅（半潰）
同　齋藤分住宅（半潰）　同根岸柏葉住宅（全潰）
同　古井戸住宅（小破）　横須賀市營住宅（小破）
川崎市營住宅（小破）　潮田町營住宅（半潰）
鶴見町營住宅（半潰）　藤澤町營住宅（全潰）

△公營共同住宅……

中村町第一共同住宅館（小破）　同　第二共同住宅館（半潰）
柏葉共同住宅館（全潰）　翁町共同住宅館（全燒）

△休憩所……

匡濟會沖仲仕休憩所（半潰）

△授產場……

横須賀下士官家族共勵會（半潰）
横濱家庭製作品奬勵會（全燒）

△實費診療所……

實費診療所横濱支部（全燒）

△隣保事業……

匡濟會横濱社會館（類燒）　同會川崎社會館（小破）

△矯風事業……

横濱禁酒會（全燒）　婦人矯風會支部（全燒）
神奈川縣動物靈護會（類燒）

△感化事業……

神奈川縣薰育院（半潰）　横濱家庭學園（半潰）
家庭學校茅崎分校（全潰）

△盲人教育……

横濱訓盲院（半潰）　横濱盲人學校（全燒）
中部盲人學校（半潰）　横須賀盲人學校（全燒）

△釋放人保護……

神奈川縣佛教慈德會（半潰）　修道保護會（半潰）

△教化事業……

根岸力行會（全潰）

横濱基督教青年會（全燒）　横濱基督教女子青年會（全燒）
横濱佛教講話會（全燒）　道徳教會（全燒）
小田原婦人報德會（全潰）

△統制研究……………………

神奈川縣社會事業協會（全燒）　神奈川縣報德社聯合會（破損）
横濱社會問題研究所（全燒）

以上の如く、神奈川縣下に於ける社會事業の機關は殆んど全滅の悲運を招いたが、大正十二年末に至り震災救護事務局より一、五三三、〇九八圓、大震災善後會より二五〇、〇〇〇圓、一般義捐金三七六、九三九圓、合計二百十六萬三十七圓の社會事業資金を得たので、俄かに活氣つき、縣當局は先づ左の緊急を要する社會事業を計畫施設した。

名稱	位置	數
縣立職業補導講習所	横濱市	二箇所
縣立婦人授産場	横濱市、保土ヶ谷町、横須賀市、小田原町	四箇所
臨時職業紹介所	鶴見町、保土ヶ谷町、平塚町、小田原町、横須賀町、浦賀町	六箇所
縣立託兒所	川崎町、保土ヶ谷町、小田原町、田浦町、横須賀市	五箇所
無料法律相談所	横濱市、横須賀市	二箇所
巡廻助産婦班	横濱市、横須賀市、小田原市	八　班
小住宅	横濱市、横須賀市、鎌倉町、腰越津村、浦賀町、秦師町、厚木町、小田原町、眞鶴村	二三箇所
縣立簡易浴場	横濱市、厚木町、鎌倉町、横須賀町	二〇箇所
移動浴場	横濱市	四箇所
縣立公設市場	小田原町、横須賀町、鎌倉町、厚木町	四箇所
縣立簡易食堂	横濱市、横須賀市、田浦町、鎌倉町、小田原町、鶴見町、保土ヶ谷町	一二箇所

更に神奈川縣社會事業協會は縣市當局と共に縣下の私設社會事業團體の復興につき種々計畫し、尙ほ之等各團體の代表者を集めて其の被害狀況及び復舊方法等を審議し、斯くて復興に關する大體の成案を作り、而して震災救護事務局及び大震災善後會より同縣が復舊費見積高約六十萬圓を計上したるに對し救護事務局より四十四萬圓、善後會より七萬六千圓計五十四萬六千圓の補助金を受けた。縣下の私設社會事業團體は此の復興資金と縣より支給された木材及び亞鉛板等を以て建造物と設備を完成することを得て、玆に官公立の社會事業と相並んで同縣下の社會事業の面目を一新するに至つた。

今私設社會事業の狀況を見るに、婦人慈善協會その他各種婦人團體は聯合して横濱婦人聯合會となり次いで小田原少年刑務所より釋放されたる少年の保護善導を目的として同地に小田原少年團後援會の設立を見、東本願寺施設の託兒所及び玉泉寺施設の養

老院等は公設營造物の貸下を機會にそれ〳〵事業を開始した。總持寺經營の三の宮簡易宿泊所の如きは縣設營造物の實際經營の委託を受けて開所し、其他之に類せるもの少からず、縣が國費その他によりて建造し、又は資金を下附して之を自治團體の事業に移したものも其の數甚だ多い。之等を一々擧示することは困難であるが現在の神奈川縣に於ける社會事業を紹介すると左の通りである。

△一般救濟……
救濟施設　六　肺結核療養所　一
救護所　二　婦人慈善協會　一

△兒童保護……
孤兒收容所　一　貧兒學校　一
託兒所　一四　兒童相談所　二
少年保護會　一　乳兒保護協會　一
横濱市產院　一　巡回助產婦班　八
林間學校　一

△福利增進……
職業紹介所　一　公設市場　二四
簡易食堂　八　公設浴場　五
公設質舖　一　公營住宅　三三
公營共同住宅　二　勞務者休憩所　一
授產場　一〇　實費診療所　一
庭園開放　五　簡易宿泊所　五
公衆集會所　一　無料法律相談所　二

△敎化事業……
隣保事業　二　矯風事業　三
感化事業　三　盲人敎育　四
釋放者保護　四　職業講習所　三
一般敎化　九一

△統制研究……
統一連絡　一　研究會　一

以上は神奈川縣震災後に於ける社會事業の一般に過ぎないが、最近頻りに新施設を計畫し、理想に向つて躍進しつゝあるは斯業のために喜ぶべき現象である。今これを概記すれば、現在二百數十名の從事員を包容する横濱市の社會課はこれを社會局に改めて内容を充實一新せんとの企劃もあり、又曩に大阪府より寄贈された三十三萬圓の資金を以て本館一、別館四の隣保館を建設し、その建設と相俟つて、更に各館を中心に横濱市内各方面に於けるセットルメントを開始する事にもなつて居る。

尚ほ横濱市内に於ける細民の代表的集團區域たる南太田町、富士見町耕地附近に於ける社會的施設は

明徳學園が託兒部と夜學部とを開設したるに止まり從來殆ど閑却された感があつたが、最近周圍を擴張して之を中心に種々なる社會的施設をなすべく企劃を進めて居る。先づ平沼小學校の廢止によつて勞働者の子弟が普通教育を受くるに困難な事情あるに鑑み、この缺陥を補はんが爲め、新たに校舍を増築し晝間教授を開始するさうである。

更に社會事業從事員の慰安、修養等の施設をなし以て斯業の進歩發達を計らんため、その方法をも研究されて居る。社會事業協會が社會事業關係の圖書を蒐集し、之を社會事業從事員に開放せるも、亦その要求の一部に副はんがためである。要するに震災後に於ける神奈川縣下の社會事業は系統の整理と內容の充實と相待つて更らに面目を一新せんとしつゝあるのである。社會事業の最も貧弱なる我が關東州は常に大いに慚死すべきであらう。

我國土地增價税の内容と其の目的

社會政策的見地よりも財政上に重きを措く

土地增價税は近時我國に於てもその設定の必要を認められ、當局者の間に於て目下種々調査研究中であるが、我國に於ける土地增價税設定の目的は、社會政策の爲にあらずして主として財政上の見地に基くが如く思はれる。卽ち土地增價税の設定は都市計畫事業に要する費用の一財源たらしめんとする事とそれから現行の固定的土地臺帳に基く土地課税制度に原因する地方自治體の甚だしく窮迫したる財政情態を救濟する一手段たらしめんとする事とに存する從つて土地增價税が果して其等の目的を達するに十分であるか否かに依つて此の提案についての批判が下されなければならぬ。併し社會政策的見地が全然無いわけではない。此の税案は最初歐洲大戰後の好景氣時代に立案されたものでソレには都會地に於ける土地投機の抑制といふ社會政策的理由も含まれて居るものと見ることが出來やう。今内務省の勅令案

と稱せられるもの丶內容を左に摘載する。

第一條　都市計畫事業の費用を負擔する市町村は其の區域內の土地に對してその自然增價額につき土地增價稅を賦課することを得

第二條　土地增價稅は土地所有權の移轉ありたるとき又は法人所有の土地にして十五年以上移轉なきときは之を賦課す

第三條　土地增價稅は土地所有の上に有價的移轉を生じたる場合は前所有者に其他の場合は現所有者に之れを賦課す

第四條　土地の自然增價額は土地の現價より左の金額を控除したるものとす

（一）土地の原價額

（二）土地の原價額決定時期以後に於て其の土地の改良の爲め投じたる費用

有償移轉の場合に於ては前所有者が其の土地の所有權を取得したる爲めに要したる登記その他の公課

第五條　土地の原價額は土地所有權取得の時に於ける價格に依る但大正五年一月一日以前に取得したる土地に付ては其日の時價を以て原價額とす同期日以前に取得したる土地の取得價額が同期日より大なる時は其の價額に依る

十五年以上移轉なき法人所有の土地に對する第二回以後の土地增價稅賦課の場合に於ては其の賦課の時より十五年前に於ける土地增價額を以て其の原價額とす

第六條　國に對して土地增價稅を賦課することを得ず府縣郡市町村その他の公共團體が其の所有土地を公共の用に供する場合及び公共の用に供するため土地の無償移轉を受けたる場合には土地增價稅を課することを得ず

第七條　市町村に於て公益上必要と認むる場合は土地增價稅を減免することを得

第八條　土地の價格は市制第八十三條竝ひに町村制第六十九條に規定せられたる委員會の意見を徵して市町村長之れを定む

第九條　土地增價稅の稅率は左の制限內において之れを定むるものとす

增價額が原價額の百分十以下の場合	百分の五
同　百分の十を超ゆる場合	百分の七
同　百分の五十を超ゆる場合	百分の九
同　百分の百を超ゆる場合	百分の十二
同　百分の百五十を超ゆる場合	百分の十五
同　百分の二百を超ゆる場合	百分の十八
同　百分の二百五十を超ゆる場合	百分の廿一
同　百分の三百を超ゆる場合	百分の廿四
同　百分の三百五十を超ゆる場合	百分の廿七

同　百分の四百を超ゆる場合　百分の三十

第十條　本税の徴收に關し市町村は條令に依り二年以内の延納を定むることを得

附則　本令は公布の日より之を施行す

尚ほ此外に信託に依る脱税方法に對する防止規定が加へられてあるが、以上の條文に依れば、第一、第二、第三條及び第六、第七條は課税の範圍、第四第五條及び第八、第九條は租税の算出方法、第十條は租税徴收に關して規定したものである。

今此等の規定を以て獨逸及び英國のそれと比較して見るに、大體に於て同巧異曲である。次に彼我相異れる點を擧げて見ると、第一に我國の税案には少額利得に對する規定が缺けて居る。之に反してフランクフルト●アム●マイン市は增價率一五%以下、ケルン市は一〇%以下、英國では一〇%以下を免除し獨逸帝國税法の如きは其の規定が一體に寛大なる上に、税額二十マルク以下の場合を免除し、且小資産者に對しては特別の免除が規定されて居る。又相續の場合に關しても我國の税案には何等の保護規定がない。此等は第七條の規定に從つて更に規定せられねばならぬものと考へられる。第二に租税算出の點に就いて見るに、英國では原始價格の一割を參酌し獨逸では甚だ寛大な規定が存在して居り、フランクフルト●アム●マイン市、ケルン市の如きは間地に對して毎年四分の利子、帝國税は三分の利子を參酌して居るのみならず、改良費の利子に對しても三分又は四分の利子が考慮されて居る。然るに我國の規定には其等の項目がない。然し之を以て必らずしも苛酷であるとは言へない。何となれば、土地の改良費に對しては、その所有主は地代の中に毎年相當の償ひを得て居るし、又間地に對して寛大な規定が存することは、空地所有に對する一種の奬勵策であるからである。然し土地增價格は元來地主の不勞利得のみを補ふべき租税であると云ふ點から見れば、貨幣價値の低落に依る見掛け上の增價に對して參酌を加へ、更らに計算上の錯誤から被むり得べき地主の損失を保障する爲めに相當の利子が參酌されることは望ましい事と言はなければならぬ。

第三に長期所有に關して我國のには何等の參酌規定が存在して居ない。獨逸帝國税に於ては所有期間一年毎に税率一を減じ、ケルン市その他の都市も長期所有に對しては保護規定を設けて居る。長期所有に對する課税輕減の理由としては、長期所有は大體

その動機が投機に存じないこと、短期に於て得たる利益は長期間所有し且それを生計の手段として使用せる土地より得たる利益よりも其の負擔力一層大であること、是等の事情を參酌し、更に長期間内に於ける貨幣價値下落に基いて納税者の被むり得べき損害を救はん爲めであると言はれて居る。土地増價税に社會政策的理由を含ましめんとする點から言へば此の規定を設けることは寧ろ當然であると言へやう但し其の本來の目的が財政上に在る以上成るべく參酌規定を少くする方が有利であることは勿論である又若し財政收入の點のみより論ずるならば、原始價格決定の時期を大正五年より更に溯及せしめる方が有利であると言ひ得るか知れない。

學業不成績兒童救濟策の要項

文部省ではいよ〳〵其の計畫案を立てた

近時刑事犯罪事件の激増に伴ひ思想惡化の嫌ひあり、這は實際問題として教育上容易ならずとし、文部省にては各種方面に亙りて根本的考査に着手したその結果社會教育の一大振興に向つて全力を傾注することになり、青少年訓練並に公民教育の施設振興といふ二大眼目の實施と相俟つて、全國に於ける約二十萬人の學業不成績兒童救濟策を講ずる方針を決定した。其の計畫案の全文左の如し。

第一、現在の學級に於ては一箇學級兒童數稍々多きに失する嫌あるに依り（尋四、三三二人、尋五、四〇人、尋六、四二人）將來は可成的人員を少くし稟性劣等兒學級全校一組を編制せんとす

第二、技能科統合案に依る教授を施すと共に職業教育を重視すること

第三、統一ある體育を行ひ其の不斷の實行に依つて兒童の精神的缺陷を矯正すること

第四、劣等兒童特別取扱の結果大いに自得する所あり故に同一學年を三學級以上に分ち而して之を完全に遂行し得るに至れば各學年に若くは二學年毎

に特別兒童を以て編制するところの一學級を組織し優良敎員をして擔任せしむること

第五、兒童の能力が相當に增進せしことを確認するに至ればその本人及びその保護者の意見を聽き相當普通學級に編入せんとす

第六、特別兒童取扱上現數（男九、女四）を以て極度と認む若し第二項の如き兒童の出づる時は更に普通學級中に最劣等兒を收容せしむること

第七、左の諸點に注意すべし

（イ）兒童を成るべく愉快に成るべく自由に遊ばしむるやう導くこと

（ロ）成るべく低學年の間に救濟すること

（ハ）學級兒童數を少くすること

第八、兒童の選定法に對し深く研究しその選定を誤らざるやう萬全の策を講ずること

第九、成績過程を明瞭にして適切なる對策の講究に資し所期の目的に努むること

第十、この種學級に必要なる設備について十分意を致しその完成を期すること

第十一、第一學期末に於て「メンタルテスト」を行ひ現在の編制に斟酌を加へんとす

第十二、此の編制を存續すると共に當該學級に收容する兒童の選定法に付いては一層科學的精神查法に依らんことを期すると同時にダルトン實驗室案等を加味して各自擔當するところの兒童救濟に就て效果を擧げんことに努力すること

第十三、成績不良兒特別指導の結果と體質並に身體的異狀との關係に就き調查の上校醫と協力して心身兩面より缺陷救濟の實を擧ぐること

第十四、低能兒敎育は敎員その人を得ざれば決して成功の見込みなし故に適任者を得るにあらざれば之れを設置せざること

第十五、兒童數は成るべく之れを減じ以て優良なる敎員を配置し一學級の兒童を幾團かに區別して學科の進步に對する身體的故障を考へて或は上級の兒童と共に學ばしめ或は下級の者と共に敎授を受けしめ以て眞の敎育を施すこと

第十六、敎室の設備を改善すること

第十七、校外敎授（林間敎授）を多くすること

第十八、彼等に適する敎材の研究をなすこと

第十九、精神檢査を行ふこと

第二十、特別學級收容兒童の選定については十分注意し其の標準の研究を行ふこと

第二十一、原級に復すべき時期、程度或は地理並びに歷史若くは理科を如何に取扱ふべきかに就いてその研究をなすこと

第二十二、夏期休暇の對策を講ずること

第二十三、特別學級の數を增加すること

× × × × × × × × × × × × × ×



滿洲兒童の夏季聚落

高橋月南

滿洲在住の青少年に對する社會的敎育は年々發達し、大連、旅順の少年團組織を始めとして、滿鐵沿線小學校等に於ても既にその組織計畫がある。また夏季休暇を利用して少年兒童の保育事業も年々盛んになつて來た。先づ本年の計畫を開くに、大連少年團一行は柳樹屯に、基督敎青年會少年部は石碑屯にそれ〴〵天幕生活をなし、市內小學校の虛弱兒童に對しては夏家河子に於て海濱聚落を開催し、滿鐵沿線小學校生徒の爲めには星ヶ浦に於て海濱聚落、その虛弱兒童の爲めには熊岳城温泉に於て大規模の温泉聚落を催すことになつた。今是等の少年保育事業たる夏季聚落の一般を紹介する。

少年部の天幕生活

基督敎青年會少年部の天幕生活は本年で四回目であつて、相當の經驗をつみ、この自治的乃至自由的生活によつて享くる兒童の精神上及び肉體上における健康增進は顯著なものがある。この故に部員の父兄にも熱心なる贊成者があつて本年も既に豫定人員たる三十名を超過したさうである。

地點　は大連郊外老虎灘を東の方に一哩距てた小さな漁村で、水碧く、砂白く、大連近郊には珍らしい景勝の地である。小川には流れの囁きが絕えず樹上には小鳥が美音を弄し、前方は無限に開かれてそこに渤海の青波がうねる。實に一見して氣宇を廣濶にし精神を壯快ならしめる。この自然の偉大と神秘とに包まれて原始的生活を營むのであるから如何なるものも人間本來の純眞に立還らざるを得ないのである。青年會のキャンプは遂に汎ねく識者の認むる處となつて昨年この地一帶約一萬坪の土地を永久

に貸與された。而して同地に於ける

設備と規定　は單純なるテントではなく半永久的のバラックを建てゝある。その坪數六千坪、それに約二千圓を投じ、昨年より開所したのであるが內部の設備としては薄べリを用意し、テーブル、料理道具一式の外、キャンプに使用する必要品全部を備へてある。運動器具や船等は言ふ迄もなく、水泳初心者のために危險なきやう海上に設備さへ施してあり、また夜間蚊軍の襲來に對しては充分防禦法を講じてある。このバラック式海濱聚落生活は飽まで共同的、自治的のものであるから、別に規則としては定めてないが、部員全部の安全を計るため是非守らねばならぬ條項として

一、定められた時間以外に水泳をせぬこと。
二、指導者と一緒でなければ舟遊びをせぬこと。
三、注意を受けた場所には立入らぬこと。
四、他行の場合は指導者の承諾を得ること。

と定めてある。併し本來は自治生活であつて、講演自修、精神講話、水泳、體操、遊戲、遠足、音樂、諸種のゲームを行ふ。又キャムプ、アイイア卽ち夜間盛んに焚火しつゝ其の周圍に會員を坐らせて談話をなさしめ社交心を啓發する。

日課と携提品　會員の日課として與へられてあるものは大略左の如くであるが然し其の日又は其の時の都合で變更されることもある。

午前五時	起床洗面、ベット整理
同五時二十分	旗揚式、體操
同五時五十分	學課自習
同七時十分	食事
同八時	學課自習
同九時十分	體操「諸種競技、水泳」
同十一時卅分	食事
午後零時半	休息
同二時	體操
同三時三十分	おやつ
同五時三十分	食事
同六時三十分	日記、記錄自由時間
同八時	默想、就寢

携帶品　は寢具、衛生具、食器、其他で、青年會では現場まで自動車で一纒めに運搬することにしてゐる。而して其の携帶品の內譯は

△寢　具　敷蒲團一枚、毛布一枚、寢卷、枕、冬

シャツ(又はジャケツ)
△衛生具　タオル、石鹼、齒磨粉、齒ブラシ
△食　器　茶碗二箇(又は汁碗)皿大小一枚、箸
△其　他　學校用器、ナイフ、下駄

食物費用　食物には夏季のことであるから特に注意を加へ新鮮なるものを選び衛生的に充分撰擇することになつて居る。費用は三週間金拾五圓で、之れは主として食料であるが、その他の諸雜費の一部も含むで居る。昨年の經驗によると一人前貳拾餘圓を要するさうだ。不足分は主催者の負擔であるが臨時に往來する電車賃は各自の負擔である。

資格　は小學校五年生以上中等學校三年以下の男子で、年齡十二歲以上、十六歲以下、さうして定員は五十名であるが、建物その他指導の關係からすると三十名位が最も適當であるとの事である。此の夏季聚落に參加する會員は一應の健康診斷を受けて合格したものに限るとされて居る。

尙ほ同地は老虎灘より徒歩にて三十分、馬車又は舢舨の便によれば約二十分にて行かれ、交通最も便利な處であるから、將來大大連市の內容が充實した際は、同地方は臨海公園として蓋し最も適當な地點であらうと言はれてゐる。

各小學校の水泳と聚落

大連市内十一小學校の兒童に對しても健康增進のために水泳及び聚落が開催される。水泳は星ヶ浦、老虎灘、夏家河子の三箇所にて行はれ、關東廳において設備を施してある。之れは尋常三年以上の兒童とし、一校三四百名の多數に達し、それぐ\受持敎員が引率して行ふのである。海上には警戒の標識を設け、監視船を巡廻せしめ、陸上には救護班を設置して急病兒童の診療に備へてある。星ヶ浦、老虎灘海岸に行くものは電車の便あるも、夏家河子行きは何れも臨時列車に搭乘するのである。滿鐵もこの賃金を極端に割引して兒童の負擔を輕くする事になつた。此の外猶ほ各中學校でも期間を定めて水泳をなさしめ學生の健康增進に努めて居る。

海濱聚落は七月二十六日の暑中休暇と同時に各小學校で開始する。これは學校に依つて方法が違つて居るが、大體は水泳を中心として體操、午睡、遊戲復習、談話、舟遊などで、晝飯だけは炊事を雇ふて賄ふことになつて居る。兒童一名五圓內外の費用で

この經費の中には汽車、電車賃は勿論、晝食代、三時の「おやつ」代まで含まれる。或る學校では兒童の興味をそゝる爲め簡單な「寶探し」の餘興までやるさうだ。期間は十二日間で、場所は星ヶ浦、夏家河子老虎灘の三箇所である。市內小學校の水泳及び海濱聚落の期間と場所を示せば左の如し。

學校名	水泳期間	場所	聚落期間	場所
伏見臺小學校	自七月十日 至八月廿四日	星ヶ浦	自七月廿六日 至八月九日	星ヶ浦
朝日小學校	自七月一日 至七月二十日	老虎灘	自七月二十日 至八月五日	老虎灘
日本橋小學校	自七月六日 至七月十九日	夏家河子	自七月二十日 至八月八日	夏家河子
常盤小學校	自七月七日 至七月廿四日	老虎灘	自七月廿七日 至八月八日	夏家河子
大廣場小學校	自七月六日 至七月十八日	夏家河子	自七月廿七日 至八月八日	夏家河子
春日小學校	自七月六日 至七月廿三日	老虎灘	自七月廿六日 至八月八日	老虎灘
松林小學校	自七月廿七日 至八月九日	夏家河子	同	上夏家河子
南山小學校	自七月六日 至七月十八日	星ヶ浦	自七月廿七日 至八月八日	星ヶ浦
沙河口小學校	自七月六日 至七月廿四日	星ヶ浦	自七月廿七日 至八月九日	星ヶ浦
大正小學校	自七月六日 至七月十九日	星ヶ浦	自七月廿七日 至八月八日	星ヶ浦
嶺前屯小學校	自七月十五日 至七月廿九日	老虎灘	同	上老虎灘

次に熊岳城に於ける温泉聚落は、滿鐵會社に交渉して沿線各小學校とは全く別個の建物に兒童を收容し、その人數も約七八十名を限度としてゐる。之れは全く病弱兒童の保健の爲めに開催するのであつて各校八名宛の割當であるが、南山麓沙河口小學校は一名もなく、嶺前屯小學校は六名、そして世話一切を擔任して居るのは重松、越智の兩校長である。期間は七月二十六日から八月五日までの十二日間でこの經費は一八十一圓である。滿鐵沿線各小學校の兒童の夏季聚落は滿鐵の手で一昨年から行つて居るが關東廳關係の各小學校では本年から始めたのである。熊岳城は温泉があるのみならず、河もあり、山もあり、自然の風景が可いので、兒童の健康增進には海濱以上であると言はれて居る。

滿鐵の海濱温泉兩聚落

滿鐵會社は鐵道沿線所在各小學校兒童の保健及び健康增進の爲め毎年海濱及び温泉の兩聚落を開催して居るが、その經費は兒童の增加と共に增大し、本年の如きは海濱聚落に約壹萬圓、温泉聚落に約五千圓を要するさうだ。左に大要を紹介する。

(一)星ケ浦海濱聚落　星ヶ浦に於て海濱聚落を開いたのは今から十五年前である。當時は諸般の設備整はず、當事者も尠なからず苦心したが、近年

に至り温泉ホテルの建物を借受けて兒童を收容することが出來る樣になつた。保健の方は水泳と水浴であつて、此間の娛樂としては繪畫、寫生、音樂の練習、樂器の使用などで、趣味養成をその方針となし擔任敎員も決定して居る。兒童が多くなつたので之を二回に分ち、第一回は七月十六日より二十五日まで、第二回は七月二十八日より八月六日までとなし正味十日間である。參加兒童は尋常五年以上高等二年までの男女約一千名、一回五百名宛の豫定で、兒童の費用は諸雜費として一人金五拾錢、食事一日三食金五拾錢である。左の病氣あるものは參加することが出來ず、健康の如何を確かむるため、出發前學校醫が嚴重なる身體檢査を施行する。

結核、トラホーム、腎臟病、脚氣、心臟病、癲癇中耳炎又は鼓膜穿孔ある者、傳染病菌保有者。

兒童の携帶品は左の如きものである。

一、寢具(毛布、枕、腹卷、袷又は綿入)
二、食器(飯茶碗、汁碗、箸及び箸箱、拭巾等)
三、復習(特に圖書)
四、用具(インキは携帶出來ぬ)洗面用具
五、水泳又は水泳用具として男子は帽子、長褌、女子は水着(黑色)日除帽子、櫛、結髮紐
六、樂器及び運動具等

この鐵道沿線各小學校の水泳參加兒童附添敎員數は左の如くであつて、即ち第一回は四百九十八名、第二回は五百三十五名である。

▲第一回參加小學校及び員數

	兒童	敎員		兒童	敎員
鞍山小學校	八六	四	奉天尋高小學	七六	三
奉天第一小學	一五	一	奉天第二小學	四九	二
鐵嶺小學校	四六	二	開原小學校	一九	一
昌圖小學校	一三	一	四平街小學校	一八	一
公主嶺小學校	一四	一	長春小學校	八二	三
吉林小學校	一二	一	哈爾賓小學校	一二	一
熊岳城小學校	一七	一	計	四七六	二二

▲第二回參加小學校及び員數

瓦房店小學校	二八	二	大石橋小學校	三〇	二
營口小學校	二九	二	海城小學校	一四	一
遼陽小學校	六七	三	本溪湖小學校	四〇	二
橋頭小學校	四	一	連山關小學校	一二	一
鷄冠山小學校	五	一	安東尋高小學	一〇三	四
撫順第一小學	七三	三	撫順第二小學	七四	三
安東尋常小學	三〇	二	計	五〇八	二七

(二)熊岳城温泉聚落　熊岳城に於ける温泉聚落は沿線小學校兒童中の虛弱者を收容し日課を定めて

保養せしむるもので第一回は大正七年夏季に開催した。當時は僅かに二十六名の兒童を同地公學堂を宿舎として收容し、公園内の河畔に二十五坪の休憩所を設け、河床に六坪の浴槽を新設したに過ぎなかつたが、兒童の增加と同時に年々種々なる經驗をつみ次第に規模を大きくすると共に設備も完成されて來た。本年は實に第八回目の聚落である。この聚落の目的は虛弱兒童の健康を增進せしむるある耳ならず共同生活に依つて規律、節制、自治等の諸德を涵養し、一面には自然に親しみにその自然を察することに依つて啓發さるゝ所も多い。同地小學校長家入氏は熱心に監督指導の任に當つてゐる。

設備　熊岳城畔の休憩所は大正十年七月增築修繕して之を宿舎とし、洗面所、醫務室、病室、事務室、便所、配膳室(九十七坪)等を建設し、河床中の水泳場は百坪に擴張され、浴槽も六坪からある。本年は男女兒童百二十名宛二回に分ちて收容することになつた。同地は空氣新鮮で自然の惠みが豐かなので虛弱兒童の保養地としては最も適當して居る。

兒童　收容すべき兒童は各小學校の尋常四五六年生中の營養不良、發育不充分、貧血腺病質等の虛弱者の中から希望者を採るのであるが、海岸の聚落同樣、結核者、傳染病者は除外する。

期間　前期は七月十六日より同三十日まで男學生百二十名、後期は七月三十一日より八月十四日まで女學生百二十名を收容する。

行動　新鮮なる空氣に觸れしむると共に適當の運動を課して皮膚の强壯を計る。

(イ)體操、遊戲、深呼吸、冷水摩擦、日光浴
(ロ)遠足、運動會、散歩
(ハ)温浴、砂浴、河遊、水泳

其の外休養並びに慰安として自由休養、時間設定午睡、幻燈會、活動寫眞會、お伽會、レコード會、學藝會、少年讀物供給及び寫生畫展覽等を開催する次ぎに學習の指導としては熊岳城附近における自然物の觀察並びに研究、學科の復習、圖書並びに唱歌の指導、日記通信の指導等である。

衛生と食物　入浴、調髮、身保、齒磨、含嗽、爪剪、鼻汁のかみ方、耳垢の取方、食後就床前の安靜等をなし、食物の材料は最も精選し、その獻立表を作成し、毎日間食一回を與へるのである。

身體檢査　身長、體重、胸圍、握力、運動前後に

於ける脈搏及び呼吸の調査、糞便、尿、血液の檢査ビルケー反應調査、血壓、肺活量測定、食物攝取量增減の調査、神經質兒童動作變化の調査、その他一般營養調査等であつて、之れには醫師又は看護婦がそれぞ〱專門に從事するのである。

日課 は左の通りである。

午前六時　起床、整頓、洗面、冷水摩擦
同　七時　朝禮（遙拜、訓話、通達、衛生檢査、體操）朝食、休憩の後、同八時半自由四十分
同九時半體操遊戲（二十分）川遊び、水泳（六十分）砂浴び（十分）、斯くて晝食に就く
午後二時休養、午睡又は自由行動
同二時半體操遊戲（二十分）川遊び水泳（六十分）砂浴、入浴（十分）午後四時間食休憩
同五時半夕食休憩、散步
同七　時自習（六十分）お伽會、學藝會、斯くして同八時半に至りて就床するものとす

携帶品　寢具（毛布、枕、腹卷、寢卷）箸、齒磨、用品、手拭、石鹼、捕魚具、砂遊具、小刀、ハンモック、ラケット等であつて、男は紅白運動帽　長褌女は髮結用具、水着、日除帽子等を要する。

經費　滿鐵會社の總豫算は四千圓であるが、人數が多いので恐らく五千圓に達するだらうと云はれてゐる。兒童の經費は汽車賃を除き食費として一日金六拾錢を負擔するのみである。

少年團の天幕生活

大連少年團は一昨年編成して以來、智的方面を始め體育、訓育等の方面にも熱心に努めてゐるが、今夏は柳樹屯に於て天幕生活を行ひ、自治的精神を涵養する事になつた。右につき民政署の阿左見視學は實地調査をなし、且諸般の準備を整ひ、七月二十日同團幹部の協議會を開いて一切を議了した。同團天幕生活の概要について阿左見氏は語る。

（一）設備　は當事者の最も苦心する處で、從來も兩三回天幕生活の豫習をやつて見たが、生活狀態が全く一變する結果、年少者に尠なからず影響を與へるのを認めたから、細心の注意を拂つて居る。それで本年は柳樹屯の軍隊に交渉して少年團の爲めその一部を開放して貰ふことになつた。之がため天幕數帳、毛布、蚊帳、炊事道具一式を準備した。

（二）組織　年少者の純天幕生活には多少の危險が伴ふので、先づ第一着に小學高等科、中學一二年生のうち身體強壯なるもの三十名を選拔して一隊とな

し、柳樹屯聯隊の營庭にて實行することにした。同地は周圍に綠樹欝蒼と茂り且海岸に近き爲め避暑地としても最好の適地である。この一隊の終了後更に他の一隊三十名の天幕生活を行ひ、最後には年少者百名を天幕でない兵舍に收容して一日乃至二日間自炊生活を試むることになつて居る。

(三)**日課**　は之れを總括すると體操、遠足、水泳遊戲、植物及び昆蟲の採集、天體觀測等で、一般聚落と異なる處ないが、唯だ玆に本團の最も意を用ふる所は、自由に且自然的に節制と規律的の行動をとり、自治生活と共同生活の實を擧げ、且これを迅速機敏に行ふやうに仕向けることである。

(四)**經費**　の全部は大連少年團に於て負擔し、團員には單に食料だけを出費せしめ、一週間にて天幕生活は約五圓、營舍收容の少年部は約一圓位である尙ほ此の夏季聚落の詳細に就いては追つてその結果の發表を待つて改めて紹介する。

奉天に於ける勞働運動

在奉天　田原漠東

一、勞働運動の趨勢

奉天に於ける支那人勞働者の勞働運動はこゝ兩三年來の現象であるが近代的產業の處女地における初期の勞働運動としては可なりに進歩したものと云へる。卽ち奉天の勞働運動は度を重ぬるに從つて組織的に、團結的に且巧妙に機會を捕へ、合理的な方法を用ひて賃金增加を要求し、その多くは彼等の勝利に歸して居る。此の傾向は日支兩國人經營の事業會社共通の事實であるが、取り分け最近における邦人經營の各種工業に從事する勞働者に顯著であるのは其所に何等か深刻なる理由が無くてはならぬ。其れ

は果して何であらうか。予の觀る所では、一見甚だ穿ち過ぎた觀察の樣であるが、之は

一、日本の資本投下に對する一種の牽制策若くはその手段の具とすること。

二、二十一ヶ條問題竝びに不平等條約の廢棄といふやうな排外的國權回復運動の側面運動としての色彩を加味して居ること。

三、日貨排斥の一助とすること。

等で、そこに一種の深刻味があり、思想的にも根深いところが有るのだ。一部の人士は彼等には何等の主義も信念もなく眼中唯是れ物質的利己心あるのみと云ふ。成程彼等勞働者及び使嗾者の精神は其れに相違あるまいが、彼等が勞働運動の目的を遂行貫徹する手段として前述の如きものを暗に標榜して居ることは、大いに注意すべき點である。唯問題は今後這うした思想や傾向が如何なる程度まで進展するかであるが、産業の發展に伴ふ勞働者の激增とその集團的勢力の增大は、勞働運動の根本理由である物價騰貴に伴ふ生活難と共に、賃銀增額乃至待遇改善の要求となり、それが排外運動と相待つて今後も必らず起ることであらうと思はれる。

二、勞働者の生活狀態

然らば現時における支那人勞働者の生活狀態は如何といふに、之を書く前に、一寸奉天の各種工業に從事する勞働者の集團狀態を記して置く必要がある。奉天の勞働者を地方別にすると、山東地方と滿洲土着の二者に大別することが出來、前者は概約全數の約七割を占め、後者はその三割に過ぎない。山東地方の勞働者は出稼苦力と稱する至つて忠實な勞働者で、生活程度も滿洲土着の苦力に比し遙かに質朴であり、生活費の如きも一ヶ月小洋八元乃至十元位で足りる。彼等は勤勉力行して專心貯蓄に努め、一年間（と云つても冬季約四ヶ月間を除く）に數十元の金を手にして故鄕に歸るのを無上の樂みとして居る。之れに反し滿洲土着の苦力は第一觀念において全然前者と異なり、生活費の如きも遙かに多く、貯蓄的觀念にも乏しいのみならず、餘分の收入があれば之を濫費する惡風がある。餘分の金を濫費する結果は自然物質慾を挑發し、生活難を招徠して、常に賃金の增給を要求して止まない。近時奉天票の流通高膨脹と

相俟つて物價が昂騰したのは事實であるが、此の諸物價の昂騰と同時に彼等の生活も亦多少贅澤化して居るから、その二重の作用に依つて、收入の增加を計るべく賃銀增給の勞働運動を起すである。要するに社會の進化につれ彼等の生活が復雜化したことが今日の勞働運動を產ましめた重なる原因であることは否認すべからざる事實である。

三、勞銀と勞働時間

次に罷業の理由とする勞銀はどうであるかと云ふに、勿論一定しては居ないが、この兩三年來諸物價の昂騰した爲めの增給と、勞銀値上げ運動に依る增給等に依つて、餘程增加して居る。今奉天警察署の調査した處に依る大工場の現給率を見るに

南滿製糖會社	最高日給	壹圓八拾錢
	最低日給	四拾錢
奉天製痲會社	最高日給	貳圓五拾錢
	最低日給	貳拾參錢
滿蒙毛織會社	最高日給	壹圓六拾錢
	最低日給	貳拾五錢

であつて其他の大小工場も大同小異であり、特殊の技能を有するものは日給二圓餘を支給され、雜役的勞働者と浮動的勞働者は大人で一圓前後が大多數を占め、日給二十四五錢のものは小供である。右は日給であるから、日曜又は特殊の事情で工場の操業を休止した場合、或はまた勞働者の缺勤した場合には勞銀を支給しないが、一二工場では休業日に限り日給の半額を支給するといふ恩典を與へてゐる。又會社に依つては特に宿舍を支給し、或は共同炊事場を設け、更らに食料品その他の日用品までも會社が特に安價に供給する等の事もして居る。

斯くの如く支那人勞働者の勞銀並びに待遇は著るしく改善されて居るが、勞働時間は南滿製糖會社の八時間制を除く他は悉く十二時間制で、未だ眞に目醒めない彼等は勞銀の增收を欲するの餘り、長時間に亘る過度の勞働も敢て苦痛としないのである。此の結果は勞働能率の上に影響を來すべしとの說もあるが、多年の慣習と彼等の強い筋肉的勞力とは、能く過度の勞働に堪ね、時間のために勞働に支障を來たすやうな事はないと云はれて居る。

四、過去の勞働運動

奉天の支那人勞働者の勞働爭議は前述した如く兩三年來の事象で、歷史としては頗る貧弱なものであるのみならず、初期の運動の中には龍頭蛇尾に終つ

たものさへある。近年の勞働運動は單に生活問題のみが原因でなく、多少とも政治的或は思想的色彩を帶び、更らに彼等の集團的勢力が進歩して來た結果大分根强くなり、從つて無條件解決を見るやうな事はない樣だ。今某方面において調査した大正十二年六月十九日の各窯業會社における勞働者の同盟休業勃發以後に起つた勞働運動の發端及び結果を見ると其間の變遷を知ることが出來やう。

奉天窯業の罷業　奉天窯業會社の傭用苦力八百餘名は大正十二年六月十九日結束して會社に對し諸物價の昂騰に依る生活難を理由として煉瓦一萬個につき奉天票四圓の引上げを要求したが會社側より不當の要求として拒絶された爲め遂に四日間休業した。然るに恰も建築期に差迫り煉瓦の需要旺盛なる折柄であつたので、一旦右の要求を拒絶したものゝ、會社は已むなく讓歩し、結局要求の半額二圓の增給をなす事にし、苦力はそれで滿足し斯くて五日目から總て復業した。

滿洲窯業の罷業　三百名の苦力は前者と共同動作を採り、等しく四日間盟休したが、前者同樣の條件で太した事にもならずに解決した。

松茂煉瓦工場罷業　同上勞働者百五十名

滿洲土地建物の罷業　同上勞働者百名

共益公司の罷業　同上勞働者百名

青木煉瓦工場の罷業　同上勞働者五十名

奉天製麻の罷業　大正十三年五月十九日勞働者五百七十名は代表を出し奉天票の下落と諸物價の昂騰を理由として會社に向け百碼の製麻に對し十錢の工賃增給を日給者にも同額の手當增加を要求し同時に盟休した。會社側は形勢の惡化を慮り、先づ其の主謀者數名を解雇し、工賃增給に對しては百碼につき大人五錢小人三錢を日給者には三錢を夫れ〲增額し、一面宿舍手當として一日五錢を給給與する事として圓滿に解決した。之れが奉天製麻の第一次罷業騷ぎである。

栗尾染工場の罷業　日本人三名と支那人六名は同年五月九日經營者に對し利益金配當を要求し同時に作業を休止した。經營者は彼等の要求を容れて共同經營に改組し、猶ほ經營者は資金を勞働者は勞力を出資し、利益折半の契約をなし、罷業は二日間に止まり、直ちに解決した。

滿蒙毛織の罷業　從業勞働者六百餘名は代表を選

んで物價の昂騰に依る當然の要求としての外全部に亘り奉天票三十錢以内の增給の外、公休には半額を支給し、猶ほ諸罰規定の廢棄を提示し、全員一齊に罷業を決行した。滿蒙毛織會社は極めて經營困難な關係上此の要求に應じたくとも應ずることが出來す、百方手を盡して只管慰撫に努めたが勞働者側の態度頗る强硬で容易に讓らず、形勢益益惡化した。そこで會社は後日必ず彼等が腰を折つて來る時のあることを豫知し遂に放任的態度に出でた。斯くして罷休が十日となり、十五日となり、段々日を重ねるに隨ひ、追に强硬な態度を示して居た勞働者の中には漸く生活的脅威に襲はれるものを生じ、果ては三々伍々無條件復業を希望する者が出た爲め、結束に龜裂を生ずるに至つた會社側は此の機會に乘じて罰則の一部を申譯的に改正し、更らに慰撫の手を伸べ、罷業後二十日を經過した大正十三年六月四日に至つて漸く解決しその勞働者は一齊に復業した。

奉天製痲の第二次罷業　第一次罷業の解決して間もなき同年六月十九日、數日來低迷して居た不穩の氣分は遂に爆發し、第一次罷工のとき馘首された吾々の尊とい犧牲者を復歸させよ、第一次罷工後傭用した新入勞働者に對し日給二錢を增給せよ若し要求に應ぜねば罷休する、と代表者を以て要求を提出した。會社側は此の應酬的要求に對し反對するは却つて不利であると考へ、馘首勞働者の復業を許容することを條件とし、第二の要求である新入勞働者の增賃は或る時期まで保留せんことを提示し、勞資双方の間において數次交涉のうへ互讓的に解決し大事に至らなかつた。

奉天印刷の罷工　同年九月二十六日印刷職工三十四名は物價騰貴を理由に給料の二割引上げと監督者の排斥を迫つた。此種勞働者は特殊の技能を有する勞働者で、然かも罷工の結果は社會に迷惑を及ぼす事となる爲め、經營者は一時非常に周章したが、遂に意を決して高壓的に主謀者及び一部不良の分子を解雇したところ、殘部の職工は忽ち態度軟化し、初の勢ひ何處へやら、遂に無條件で復業し、僅に二日の罷工で落着した。

宮阪新聞舖の盟休　九月十三日新聞配達夫支那人十二名は突如として各々一ヶ月奉天票六圓宛の增給を要求し且休業した。一日一刻を爭ふ事業であ

る關係上、經營者は懇々配達人に向つてその不心得と不穩を戒め、二圓宛の增給をなす事にし、之れも大事に至らないで解決した。

栗尾染工場の罷休　本年四月六日一部の不良勞働者は生活難を理由に工賃の二割引上を要求し同時に罷業したが經營者側はその不良なる罷業勞働者全部を解雇する事にして解決した。

右の外本年五月三十日奉天製麻會社及び南滿製糖會社の一部勞働者は罷業し、次いで滿蒙毛織會社にも罷業が勃發したが、何れも其れは奉天票の濫發に依る諸物價の昂騰が必然的に生活難を誘致したので增給を要求したのである。時偶々南支の排外運動が熾烈を極めてゐた當時のことゝて、會社側は勿論警察側でも彼等の行動に對し特に警戒を加へ、只管その擴大惡化せざらん樣に努め、會社側も成るべく彼等の要求に副ふべく力めた結果、幸ひにして大事に至らず、僅少の工賃引上げて遂に解決した。

五、今後採るべき對策

奉天に於ける勞働運動（單に奉天と云ふ地方的現象でなく全滿共通的のものなるは勿論である）近況は劈頭の『勞働運動の趨勢』の項で概述した所によつて其の一斑を窺知し得るであらうが、前述の事實に徵して見る時、その根本原因が生活問題に基源して居ることは明かで、それに多少とも時代思潮が反映し、更に產業の發達に伴ふ勞働者の激增とその集團的勢力の增大とが副因となり、斯くして種々の勞働運動が起るものと見て差閊ゐあるまい。

そこで今後採るべき對策であるがそれには先づ當面に橫はる待遇問題を速かに解決しなくてはならぬ次に奉天における支那人勞働者の生活が奉天票の騰落に直接の關係を有することは明白で現在の如く奉天票の一騰一落が激甚であれば當然彼等の生活は動搖を免れない。會社側としては奉天票の騰落に依る勞働者の生活動搖を安定する爲め、金票を以て勞働賃銀を支給するが適法であると云つて居るが、此れは日本人の頭から割出した日本人だけの考ゐで支那人には通用しない。彼等はヨシ金票で工賃を貰つても經濟生活の基本が奉天票である以上は結果に於ては同一である。それよりも奉天票の騰落に準じて其の都度工賃の增減を行ふ方が可い。

× × × × × ×

社會問題彙報

簡保積立金を滿洲へも貸付

豫て遞信局に於て考案中であつた簡易保險積立金を滿洲の社會事業及び公益事業に投資する計畫は遞信省との間に大體の諒解が成つて近く二十一萬二千圓の金を大連、奉天、長春、撫順の各地公益事業に貸付ける事になつた右につき櫻井遞信局長は語る。

簡易保險の積立金を滿洲で流用したいと云ふ希望は前々からあり當局でも至極好い計畫で是非一般の希望に伴ふやうにと思つて本省との間に交渉したところ愈々目的が貫徹して八月中には大正十三年度の簡易保險金二十一萬二千圓と云ふ金額を貸付けることに決定した元來此の金は金利も低利で且その使途が制限されて居るので全部希望するものに貸付けると云ふことは出來ぬ譯であつて一般公益事業で民衆の利益を計るといふ事が第一であるから住宅建築費、市場改善費、その他社會事業等に要するものゝみに限つて貸付けるのである今回貸付けることに決したものも種々詮衡したうへ簡易食堂の建設費に一口、住宅建築費用に五口、都合六口だけに第一回は貸付けることになつた而して其のうち大連に三口奉天、長春、撫順にそれぞれ一口づゝ貸付ける事に決した此の低利な金が一般に貸付けられてそれによつて多少とも民衆の利する處があれば簡易保險を政府が斷行した趣旨も茲に確立し更に社會に幾分でも貢獻する處があれば當局としてもまた此の上もなき滿足である此の第一回貸付の成績によつて第二回、第三回の貸付が行はるゝ事となれば滿洲の社會の爲めに喜ばしい事であると云々と。

滿洲にも學校衛生婦の設置

學校衛生婦の設置と云ふことは既に議論の問題でなく滿洲の教育界でも實際問題として取扱はれるに至つたことは誠に喜ばしいことである即ち滿鐵では六月十日から沿線の各小學校に八名の衛生婦を置くこととなり又關東州でも過日の教育研究會總會で滿場一致これが設置方を當局に建議するに至つたが學校衛生婦とはどういふ仕事に從事するものであるか今そのことについて滿鐵衛生課の中栃學校衛生主任は凡そ次の如く語つた。

八名の衛生婦では勿論各校に行きわたる譯にはゆかないそこで一校若しくは二校を兼ねしめることになつたが成績をあげるにはどうしても各校にそれぞれ一名が必要であるから漸次全部に及ぼす積りであるさて衛生婦の仕事であるが之は餘り一般には知られてゐないやうであるからお話するのも無意義ではあるまい即ち學校衛生婦の任務は學校醫の指導監督のもとにその手助けをすると云ふのであつて之を校內と校外の二つに分けることが出來る校內勤務としては先づ校舍、設備、教具等の衛生上の注意であり第二には兒童の授業中における姿勢や疲勞などについて授業の妨げにならない範圍で注意すること第三には休憩中能く兒童と接して弱き者は診察し又は手當を講ずると云つたものである第四には食事の際に兒童と一緒に食事をするなどしてその食べ方を初め粗食でないか又は腐敗してゐないか食品の品質などに注意し湯茶の供給、飲料水の監視なども怠つてはならない。

その他トラホームを始め傳染性の病氣については校醫の助手となつて診察治療に當り怪我その他不時の事件が出來した場合には直に

それに當ることゝ尙は夏期の特殊施設である聚落に對してもその任に當るのである次で校外勤務であるが之はなか／＼重要なことで先づそれには家庭訪問が必要である校長および學校醫の命を受けて家庭を訪れ父兄の相談に預り又はいろ／＼と兒童の衛生上についての注意を促すといふのが主なるものである斯樣に衛生婦の任務は廣いものである家庭でもよく理解して兒童の衛生に注意して下されば必ずや成績のあがるものと信ずる云々。

低能兒と劣等兒の特別教育

今後の社會教育の重要な問題は境遇上低能兒若くは劣等兒の如くに見られてゐる一部の小學生の救濟と地方から大部會又は工業地へ奉公に出されて居る不就學兒童の就學等であるが後者は各小學校長や市自治の當局者が不就學兒童表にその數字を正直に多く現はすと文部當局に對して不成績の責ある如くに考へて義務教育中の兒童が甲地から乙地へ轉籍して屆け出ても闇から闇へ葬つて了ふため統計表の上では十五萬の不就學兒童がある事になつてゐるが實は二十萬もあると云はれ目下敎育界の大きな問題視されてゐる右に就き文部省の小尾社會教育課長は語る。

貧困な家庭の兒童は狹い家で主人や主人の友人等が飲酒したり又働かしたりするので復習も出來ず夜もおち／＼寢られないと云ふ風で登校しても疲勞して居り從つて學業も他のゆとりのある家庭の兒と同列には進まず哀れにも落伍して行くといふ事は屢々他の方面から耳にする之等の兒童は學校では多くの生徒の中で家庭の事情も判らぬため劣等兒若くは低能兒として落第ばかりさせられ父兄も終に丁稚奉公などへやつて了つて無學者の仲間にさまよつて行く併し之を個人教育とすると一ばし優良の兒童になる例を聞いたであるから一概に低能兒劣等兒と云つても直ちにさう決定することは危險である依つて今後此の方面の調査が完成したら研究と教育をやる特別の學校を設けたい斯うした學校は我邦にはまだ瀧野川學園外二つしかない狀況である尙ほ全國の小學校總數は四萬であるが其のうち特別學級のある所は二百校クラス數にして四百しかない又不就學兒童は調査に却々困難であるが目下準備中である四國からの情報によると金比羅參詣の客を案内する車夫に縣廳から講師が出張して客待場所で道德や歷史を敎へてゐるが從來のやうな不道德や出鱈目を云はなくなつて成績が良好であると。

虛弱兒童の熊岳城溫泉聚落

七月二十六日から八月五日まで全十日間大連各小學校聯合第一回熊岳城溫泉聚落が行はれる參加兒童は五年生以上の虛弱兒童に限り市內各小學校から男女生を通じ八名（嶺前屯小學校は六名）宛選出しこれに各學校から一名宛の指導者を附添はしめ更に主事として伏見臺小學校長及び松林小學校長の二名が總指揮の任に當ることゝなつてゐる虛弱兒の溫泉聚落は今回が始めての企てでもあるのでその準備については當事者に於て愼重な態度を持して遺算なきを期してゐる何しろ生徒數七十名、指導者十一名といふ大人數なので熊岳城溫泉一棟を借りきり委員室に二室、衛生室に一室、食堂に二室、各班居室に九室を割當て心身の鍛鍊、保養、安息、學習及び作業娛樂等の行事を適當に日課に組立て而も健康增進を目的とする虛弱兒のみの聚落であるから成るべく重荷に感ぜられるやうな課題は行はず熊岳城滿鐵公醫及び赤十字側に依託した看護婦の活動と俟つて十日間に虛弱さをすつかり振ひ落し見違へるほどに健全な身體をつくり上げやうと云ふので當局の意氣込方も凄じいものがある此の催しが好成績を收め得たら每

年續行することになる筈である。

貧しい子供の爲の勤勞學校

大阪市が皇太子殿下御成婚記念事業の一として貧しき人々の子弟に職業敎育を授ける目的で東淀川區北長柄町に設立することゝなつた豐崎勤勞學校は補習科の生徒を敎育する學校附屬の工場（木造平家建約百五十坪）だけが既に出來上つたので六月一日から生徒をあつめて授業を開始した生徒は現在十九名で濟美第五小學校の高等科在學者から九名、豐崎第五小學校の高等科から八名、淸堀小學校から一名、濟美第三小學校から一名をとり之れを家具部に十二名、玩具部に三名、塗工部に四名を振り當てためい〳〵一つ宛當てがはれた道具箱を大切さうに脇に仕舞つて小さな手に大きなかんなを扱ひかねながらもう立派な一人前の職人になりすまし喜び勇んで作業に熱中してゐる工具は勿論作業服も學校から貸與し學用品は一切支給することにしてあり作業後は入浴して歸宅させることにしてあるが家庭の事情を汲んで近く晝の辨當も學校から支給する豫定である生徒の家庭の職業は市電の從業員、新聞の遞送員、箱の內職、古物商印刷職工、包紙內職、砲兵工廠勤務などで父親が働くので足りなくて兄さんか小僧に姉さんが下女奉公に出て稼いでゐると云ふものや父親が病氣で働けない或は父親がなく母親が女手一つで晝は屑買ひをし夜は包紙の內職をしてゐると云ふやうな非常に貧しい氣の毒な家庭の子供ばかりである本館と女子の職業敎育を授けるための故高倉未亡人寄附の心華會館とは今年の十月までには滯りなく出來上る豫定であるが澤藤校長は語る。

　貧といふことの學校であつめたやうな貧しい家庭に育つた子供たちはもつと暗いいぢけた性質のものではないかと最初想像してゐましたが豫想は全く裏切られ皆な活潑に子供らしくのびのびしてゐるのを見て非常に嬉しいまだ玩具部に二名、塗工部に四名だけでは收容の餘地があるから希望者があれば容れたい方針です發達盛りの子供が朝早くから作業に從ふので途中で空腹をうつたへるのには閉口しますが何んとか晝食の外に少しばかりでも間食を與へたいとその方法を今考へてゐます此の學校に對し世間の理解同情が豫想以上に集まり將來女子部でミシンを敎へる場合には稽古の材料を一切支給し敎師も派遣しやうといつて來る特志の人もありもう今から卒業生は自分の方で雇つて世話をしやうと申込んで來る人もあるやうなわけで感謝してゐます日本でまだ例のないこの學校の將來やいぢらしい子供たちの上によい效果を齎すやうとこの頃は學校の事ばかり考へてゐますと。

ラヂオの流行とラヂオ犯罪

ラヂオの流行はその後素晴らしく盛んになつて來たがそれにつれてラヂオ犯罪ともいふべきものが增ゐて來た被害の最も多いのは有線電話の受話器泥棒で百貨店、ビルディング自働電話のボックス內の受話器が竊取されることで鑛石檢波受信機につかふのだらうが抵抗が弱く聽取不明瞭にも拘らず無線の聽取器が六七圓から十七八圓もするので子供などが竊取するものらしい中にはラヂオのセットを盜むもあり三越のスーパーヘトロダインの八球、北區堂島濱通一丁目鈴屋ラヂオ商店のドオフレー五球、東區安土町あかしやのギルフラン五球、高島屋のラヂオ陳列會のケネディーの四球等その著しいものである。

今日までの大阪放送局の聽取申込實數は二萬三千二百七十九であるが無許可で聽取をやつてゐるものは此の約倍はあらうとのこと鋼や針力の屋根の樋を空中線に代用しまた危險を犯して電燈の外線や電話の外線を代用する

もあり電燈の球をはづし整流器を挿込み蓄電池に充電するもありいづれも電信法の違反である中には私設の送信機を備へつけいろ〳〵な呼出符號を使ひお互に放送し合つたりしてゐるものもあるらしく二箇月ほど前に和歌山で一人檢擧されたがこれらに對して大阪本町局の無線電話監督室の鋭敏な方向探知機が晝夜の別なくきゝ耳を立てゝゐるが更に自動車に探知機を乘せ所在を探るとの事である。

乳兒の死亡率と乳兒保健所

我國乳兒の死亡率は千人に對して必ず百五十から二百多い所は二百五十名の割合でイギリス、オランダ、フランス等の千人に五六十人といふ比率に對し比較にもならないほど多いがそれは殆ど衞生設備の不完全と育兒法が一般に解らない爲の結果であつて實に國家の重大問題である所から内務省の衞生局では早くからこれを防ぐ方法を考へてゐたところ今度新事業の一として發表した乳兒保健所の設立は人口五萬人以上の都市には必ず設けらる筈で一箇所十五萬圓、總額三百萬圓の豫算で着々具體的に計畫を進めてゐる。

右について同省の豫防課長高野六郎博士は語る『この問題は瀨川、唐澤兩博士等が早くから計畫して居られたものであつて此の計畫が通過すれば先づ育兒の相談やらお産前後の母體の保護から始め理想としては公設の産院乳兒院となすべきである勿論專屬醫及び看護婦をおきその人たちに常に家庭訪問もさして從來の單なる援護といふ意味でなく未然に防ぐと云ふ積極的なやり方で行く筈でその專屬醫や看護婦の爲には講習所を設けて專門の知識を敎へ込まれるのであるさうした組織立つた大規模のものが日本に出るのは初めてで下層階級の人々にとつては一大福音であるが延いては此の社會施設によつて健全なる國民を造ることになるので來春はぜひパスさしたいものと思ふ通過したら早くて四月頃からで役員はまだ決めてはないが東京では先づ本所か深川方面に設けられるだらう』と。

婦人の職業に關する新問題

結婚と婦人の職業の問題に就ては今日まで『職業生活と家庭生活が兩立するか』と云ふ事のみがよく問題になつたが最近世相に現はるゝいろ〳〵な新現象から他の方面の事柄が問題視されて來た今世の中で困却して解決に惱んでゐるものを羅列して見れば結婚後の不幸な場合を見越してどの婦人も相當職業上の免許狀なり技術を覺えて置かねば不安なのか二三年の後には結婚する筈の娘が就職した爲めに貞操を失ふやうな機會の多い世の中に親は安心して働らきに出せるか職業婦人が殖えて益々結婚難をかこつのは結婚に對する職業婦人の考が異つて來る爲めかそれとも男子が職業婦人を嫌ふ爲めか一度職業に就いた經驗のある婦人は腰が强いため離婚の率が多いと云ふがそれは不當か女の爲めに生活をさゝへる職業があると云ふことで圓滿に結婚した婦人が一寸した波瀾で家庭を捨てることを平氣になつたのは果して何うしたものか。

以上の五つの問題は何れも婦人職業の發展がもたらした難物で若し本來の男子側から見れば『何れも好ましくない事ばかりだ婦人は金を得て尊いものを失つてしまふ』と云ふ結論になるか知れない然し世の生活難と婦人の自覺を昔に返すことが不可能である以上これ等の問題に對しては當分男子は相應惱まされると云ふのが事實で職業婦人問題の興味は最近この邊に萃められて來たやうであるが偖て斯うなつて來ると婦人の職業といふことも大いに考へねばならぬ問題であつて男子の職業との關係ばかりでなく婦人自身のためにも亦考慮を要することと勿論である。

益々減少する婦人の就職率

職を求める人ばかりがどし／＼殖えて需要の方はからきし駄目だといふ此のごろの不景氣は大阪西區の京町堀の婦人職業紹介所にも如實にあらはれて來ました沈滯して行く世相を眺めるとこれがどうさばかれてゆくのか恐ろしい淋しい氣持になります昨年の十一月頃までは需要者が常に求職者の四割から五割の成績であつたのが昨今では反對に求職者の方が需要に對して二割から三割弱多いといふ現象をみせてゐますそれが四月になつてどんと落目になり需要者の千八十五口に對し求職者千百二、五月に入つては需要者側九百八十一に對し求職者千二百、さらに六月に入つて求職者九百八十一に對して需要がわづかに四百五十三といふ數字を示して居ります之れまでなら一度に六十人、七十人といふ大口の注文が工業者の側からあつたのですが現今ではたまさかあつても三人、五人といふ心細い成績ですそれでみても世の不景氣風に女工を必要とする小工業者が資本の融通がばつたりとまつてにつちもさつちも動けなくなつたことを物語つてゐます一軒の家庭からいつても以前は女中の五人もつかつて居たのがやつぱり時節がらさうも行かなくなつて奥様からせち辛い馘首を申わたされる人もありますそんな場合行きどころがなくて可哀相だからといつて奥様みづから紹介所を訪れて勤め口をさがしに來るさうです景氣のよい時は家内使用人すなはち女中、乳母などの需要が可なりあつたのですが今ではそんな風で以前のやうに女中難なぞの聲はきかれなくなりました。

教育程度は小學校卒業が第一位で女學校でも出てなれば女事務員や女店員をのぞみます併しそれさへ需要が思ふ程なく婦人外交員の需要が割合に多いところから女學校卒業程度の人達で相當膽もすわり辯舌もたくみと認めたらまあ遣つてごらんなさいと進めて外交員の方へまはします外交員なら月給として固定給を五十圓支給されその上働き次第でいくらでも歩合がつくのでこのせち辛い時に七十圓の八十圓のとボロイ收入になる譯で一度その味を覺えた人はやめられないさうです生命保險、ミシン、商品の賣さばきなど皆なさうですそのほか、主人のふところばかりあてに出來ないといつてせめて子供の教育費だけでも稼ぎたいからと云ふので既婚の婦人がかなり通ひの勤め口を求めて來ます最一つ近頃の世相をあらはしてゐるのに離婚婦人の求職者がウンと殖えて居りますあんまり數字にあらはれる率が多いので今年の三月一箇月だけの調査によつて見れば五百二十人のうち離婚婦人は百二十人といふ驚く程の多數にのぼつてゐます原因は物質から來てゐるので二十五から三十前後の婦人に限られたやうでさうして結婚生活三、四年といふところが一番多いといふことですと係りのものは語つた。

詐僞的講會に嚴重なる取締

大連市内に營業所を有する信託會社等の經營してゐる講會の中には詐僞的手段をもつて講懸金を完了した會員に對し制規の支拂ひをなさぬものが少くないので近來之等講會員中のうちで取締當局に對して相手會社の信用の調査や講金の拂戾し方の說諭を願ひ出でるものが漸次增加する趨勢を示して來たが右に就いて民政署當局者の語るところに依ると『現在講會を經營してゐる會社は七社ほどであつて公稱資本金も七百萬圓からに達してゐる講會の種類は多々あるが普通一般は最小三百圓位で漸次上つて三千圓位までに及んでゐるのもあるが昨今のやうに景氣が惡くては一千圓位が止まりとなつてゐる當局で調査したところでは近來之等會社のうちに業績が甚だ面白

くないものが少くなく講金の拂戻しについても大分苦情があるやうである現に好況時代に可なり放漫な經營をした結果放資金が巨額に固定し終に滿期會員に拂戻されぬ程の苦境に陷つたものも三四社はあるのでそれ等には整理方を命じてゐるが引っ掛つた會員にすれば最初から詐欺の目的でないとしても結果に於て詐欺と見做される譯であるから不始末の會社に對しては取締を勵行してゐる』と

家出の青少年や迷兒の救濟

過般東京の協調會館に開かれた全國社會事業大會に大阪市弘濟會から「大都市に一時救護所を設置することを其筋へ建議すること」の建議案を提出し『公立一時救護所を必要ある都市に設置すること』に修正可決せられた名譽や金權にあこがれて家出する青少年や迷子などは逐年激增する一方の搜索願も澤山出るが發見せられるものはホンの一部で統計によると東京では七人に一人、大阪では三人に一人の割合である未發見の者はほとんど浮浪性を帶び不良化してゐる譯だ家出人の搜索は警察に願ひ出るより仕方がないが事實多くを警察に期待出來ないほど警察自身が仕事に忙殺されてゐる發見されるにしても此の青少年を一時的保護のために警察官の手に託することはあまり好い感じを持たせない。

警察の行政處分は二十四時間で何れは區役所などの手を經てこの保護青少年の性狀傾向を十分察知できぬ間に永久的保護所卽ち育兒院、孤兒院、感化院、授産所等に送つてしまふ中には逃亡する者もあるともなくば其處に止まつて人生の暗い烙印をおされてしまふ斯うした弊害を除くために仲繼的に一時保護所を設けてあらゆる家出人、迷子、行路病者、棄兒を收容しそれ〲親元へ照會し保護所へ送るべきは送つて將來の方針のために考へてやり社會の底の滓とよどむのを救濟しやうとする親切な社會施設である弘濟會の代表として大會に出席した田村保育所主任は語る『斯ういふ便利な緊急な社會施設が今迄忘られてゐたのが不思議です米國にはこの種類のものがあると云ふことは聞いてゐますが新歸朝者に聞いて見てもあまり局部的のことのみ調査するためか存在を知らないやうです言はば今まで警察や區役所で從屬的に止むなくやつてゐた仕事を社會施設として獨立させ調査鑑別、保護、搜索等の各部をおいて組織的に保護事業を行はうといふ譯です何れにしても一日も速かにこの施設が生れて都市の社會事業界の缺陷を救ひたいものです』と。

增加し來る苦力の勞働爭議

關東廳警務局で最近調査した處によれば州内をはじめ滿鐵行政下の苦力の勞働爭議は去る大正六年以來逐次增加して十三年度には二十九の多數を數へ本年は更に增加して四十以上に達する見込となるに至つたが六年度以降八箇年卽ち本年四月迄に合計二百六の數字を示してゐる而して之を地方別に見ると大連の五十五は一番多く次いで奉天三十三、營口二十六の順位となつてゐる而して罷業日數は九百八十三日で八年間に較べるとこの間約三年間はブッ通しに罷業を繼續したことゝなりその人員は四萬一千七百三十人であるから延人員にすると三百六十萬餘人となる譯である翻つて爭議の結果と原因を見ると爭議側の主張の貫徹したものは五十二、互讓和解五十二、業主の主張貫徹したもの百二となつてゐるが之が爭議の原因は賃金値上げ百二十四で最も多く制度改正又は新制度實施十八、諸給與十三、監督排斥十二、賃金支拂九などはその主なるものであり逐年この苦力爭議の增加するのは景氣の好否による賃金增減に對し生活難易の結果思想的に影響する故であると。

不良少年

◆本會卽ち滿洲社會事業研究會は不良青少年の保護救濟について大連各婦人會に相談を申入れた◆或る新聞に某夫人の談として「成人と青少年との道德律には非常な差があり過ぎる成人は待合で藝者を相手にふざけても妾宅を構ねても手腕家にあり相なことゝして世間では之を咎めない◆然るに年頃の息子や娘が異性の愛に牽かされて文通でもすると世間の者は之を金看板の不良少年にして了う」と◆成程さうした事實は慥かにある現在の社會には不良壯年や不良老人が尠くない◆併し不良青少年が今日社會問題の一ツとなつたのは之をその儘に放つて置くと多望なる彼等の前途を暗くすると共に他にも迷惑を掛けるからだ◆親爺が酒を飲

かゝつの錯覺的意見である◆不良青

み女狂ひをしながら子息に酒を飲むな女狂ひをするなと言つても通るものぢやないが若いものを誤まらせまいと云ふところに不良青少年に關する保護救濟の必要があるのだ◆生理的に激しい變化の起る青少年時代は人間として最も注意を要する時で一歩を誤まると取返しの附かぬ事になる◆壯年や老人の不良行爲を是認することは出來ないが成人は個人的にも社會的にも多少の地步を築いて居るから之がために其の身を誤まる樣なものは先づ尠い◆これに反して個人的にも社會的にもまだ地步の堅まらない隨つて一本立ちの出來ない青少年の酒飮みや女狂ひは自他共に相傷つくことになる◆未成年者禁酒法が實施されたのは成人は飮酒しても可いが未成年者の飮酒は不良であるから禁止すると云ふわけ

が不良青少年に關する社會事業の

ではない◆血氣旺んにして思慮未だ定らざる若いものが酒を飮むと精神的にも肉體的にも惡い結果を招ぐので詰り未成年者保護のために法令が實施されたのだ◆植物に譬ねて言へばまだ根も張らず幹も太らない未熟な若木は成熟した植物よりも手鹽にかけて大事に育まねばならぬ◆成熟した植物は風雨にも能く堪ねられるが未熟な植物は大事にしないと害虫のために侵蝕されてしまう虞がある◆不良青少年に關しての感化、善導、保護又は救濟が必要であると云ふのはこの未熟な植物を大事にするのと同じ理合である◆或る人は「壯年や老人の不良行爲を寛大に見逃がしてゐる社會が青少年の不良行爲それも極めて輕微なものを大袈裟に囃し立てるのは一種の弱いもの苛めで甚だ以て不合理不公平であ

は言語道斷だ◆斯うした

る」と語つた◆これにも一理はあるがそれは不良青少年に關する社會問題の根本觀念が間違つて居るからの錯覺的意見である◆不良青少年のことを社會問題として取扱ふに至つたのは特に彼等に森嚴なれとの意味からではなく未成年者たる彼等の保護善導を必要と認めたからだ◆まだ一本立ちの出來ない未成年者たる青少年を世の汚れる染ませると自他共に相傷つくばかりでなく未來の國民たり市民たる者の素質を惡くする◆不良壯年や不良老年のために現在の社會は餘程不健全になつて居る此上未來の社會人までが不良化しては堪らぬではないか◆酒に浸り女に狂ふばかりが不良行爲ではない不良青少年の中には盜みをしたり平氣で嘘を吐いたり詐欺を働らくものさへある◆斯うして刑法の罪人となる者もあるが之を或るべく罪に落さないで感化善導しやうと云ふのが不良青少年に關する社會事業の目的とする所である◆少年の犯罪を冷たい裁判や警察の手に委ねないで特に保護司なるものを置いて感化遷善せしめ樣といふ少年審判所が出來たのは此の故で彼のセットルメントの如きもまた其の一ッである◆元來神ならぬ人間は聖人君子を除いて誰しも多少の不良性を有つてゐる夫れは人間に神性と獸性の兩面があるからだ◆世の不良壯年や不良老年はこの獸性の勝つた人で獸性のために神性を押込めて居るのだ◆未熟な青少年と違つて彼等の不良行爲は甚だしく彼等を傷つけないとしても勿論良い事ではない社會のため後進のために寧ろ愼んで貰ひたい◆酒と女とに不良性を發揮するばかりでなく會社を喰つたり公益事業で懷中を肥すなどの不良行爲を敢てするのは言語道斷だ◆斯うした獸性の强い隨つて神性の弱い不良成人は社會的に何とか制裁の道を立てねばならぬが不良青少年のことは全く別問題でそれと之れとを一緒くたにするのは大間違ひだ◆本會卽ち滿洲社會事業研究會が不良青少年の問題を大連の各婦人會に相談したのは愛と温かい同情の力に富んだ婦人方の協戮の下にこの問題を社會的に解決したいと考へたからである◆兒童保護が社會事業の一ッとなつた樣に青少年を保護善導して世の汚れに染ましめぬ樣にするのも一ッの社會事業だ◆何にしても此の大きな一ッの社會的問題は精透なる理智によつて判斷すると共に愛と同情の力を根抵として之を解決せねばならぬのである。

デモクラシー

◎民衆主義は民衆の智德と相伴はなければ全たしと謂へない此の故に普選の實施と共に民衆の敎育と訓練が必要となるのだ◎敎養のない民衆の上に立てられた民衆主義は政治的にも經濟的にも退歩又は劣化を齎らす◎デモクラシーの本場所であるアメリカの民衆主義も近來餘ほど愚劣になり女の參政でます／＼愚劣の方面に進んで居ると或る人は指摘した◎割合に民衆の理智が高くて無學者の比較的尠いアメリカに於てさへ然りとすれば民衆の敎養と訓練の行屆かない國又は土地の民衆主義は愚劣主義となり易い◎アメリカの女がいやに出娑婆るのは女の智識が進んで居るからであるが智識ばかりで德性と思慮を缺いでは女さかしうして牛賣り損ふことになる◎女子參政も結構だがお轉婆が政治上に跳ね廻つて雌鷄曉を告ぐる様なことになつたらデモクラシーも禍なるかなだ◎我が日本も普通敎育は割合に行屆いた國であるが其の敎育が智育に偏するため一知半解の人間が多くなつて眞に透明な理智を備へたものは尠ない◎殊に縱の道德に馴らされた割合に横の道德たる社會的公德と自治心とがまだ甚だ未熟であるのは我が日本國民の大缺點だ◎この大缺點をその儘にしておいて政治上に經濟上に民衆主義を振廻はす時はそのデモクラシーは淺薄且愚劣なものとなつて好い結果を得られぬ◎玆に於てか**公民敎育、社會敎育、庶民敎育將**た勞働者敎育の振興が大いに必要となるのだ◎民衆の敎養と訓練は民衆自身の力で爲すのが本則だが變則として政府又は公共團體の力で之を强行しても宜しい◎專制政治は民の愚なるを以て可なりとしたが民衆政治は民を賢ならしめねばならぬ併しその賢は小さかしい賢ではなく總てに通ずる眞の賢であらねばならぬ◎公民敎育、社會敎育、勞働者敎育は民をして眞に賢ならしめ而して政治的にも經濟的にもその智德を並進せしめる事である◎要するにデモクラシーは民衆の敎養と訓練と相俟つて始めて全きを得るのだ又その敎養と訓練とは常に必らず智德並進であらねばならぬのだ◎之を缺いだ民衆主義は則ち愚劣主義でそれが政治**に現はれて衆愚政治となり經濟に**現はれて馬鹿々々しいモップ騷ぎとなる◎だが夫れには政治と同様に經濟も産業もこれを立憲化することが何よりも必要な事である。



死刑囚と語り



死刑囚と語る

柴田博陽

雨上りの蒸暑い或る日の午後二時頃、大連市伏見臺の横を入つた向陽臺に在る關東廳監獄分監に收容されて居る死刑囚の石橋利希藏君を訪問した。

石橋君は二三年前、滿洲里において藥種業を營んでゐた某といふ日本人とその家族と店員を四人までも慘殺した、といふ世にも恐ろしい强盜殺人犯人である。曾ては人民保護の任に當る巡査を勤めたことのある男で多少の教育もあり思慮もある筈の二十八歳の青年だ。

死刑の宣告を受けたのは此の四月であるが、彼はその判決に不服を申し立て、目下控訴中である。貴重なる四人の生命を宛然茄子でも切るやうに斷ち切つた極惡非道の人間でも、己れ自らが死といふものに直面すると、ヤハリ生命が惜くなるものと見ゑる。

私が石橋君を訪問したのは、彼の友人某からの依賴で、死に直面してゐる彼れを慰むるために態々出掛けたのである。最初私は町田分監長に面會して來意を告げると、町田氏は快よく直ちにそれを承認し、出來る

だけ彼れを慰めてやつて下さいと言ふのであつた。

斯うして私は案内されて面會室に行くと石橋君は二名の看守に護られて這入つて來た。見ると三年間に亘る獄舍生活に眼は凹み頰は落ち顏色憔悴して疎らな髯が腮に伸び、獰猛といふ程ではないが、何となく氣味惡るく鬼氣人を襲ふといふ慨あるが如く感じた。私と彼とは二名の看守が左右に立ち會つた眞ン中に小さい卓子を隔てゝ椅子に腰を下して相對した。

襟には第〇〇號との番號が縫ひ込まれてあつて一見犯罪人たることを證明してゐる。彼の双眼には一抹の雲影が宿つてゐた。私は一應彼に來意を告げた後、

『君は現在どんな考ゐを有つて居りますか。』

と卒直に質問した。すると彼は私の此の質問に對し嬉しさうな態度を見せて、

『斯んな所まで態々御出で下さいまして誠に難有うムいます。實は私は最初失望の極み一日も早く此の苦しい生活を免れたいと存じ、幾度か自殺しやうと決心いたしましたが、分監長殿より懇々とお諭しを受け今では自殺を思ひ止まり、一種の希望を持つて生きる事になりました。』

『その希望といふのは………』

『左樣、私は是まで隨分惡いことを致しましたが、今後は斷然改心し、出獄の上は世のため人のために大いに盡したいと云ふ希望を有つて居ります。』

彼は四人の者を殺害しながら尚ほ此の世に生きんと欲して居るのである。成程心から深く悔ひ改めて居る樣だが、斯かる場合に斯う言ふのは、大低の犯罪人が齊しく叫ぶところで、謂ゆる一種の犯罪人心理である今日の法律はその叫びに耳を傾けてその罪を輕減するであらうか何うか。

『改心して餘生を世のため人のために盡す――懺悔の生活を送る――いかにも夫れは結構な思ひ付きです罪滅しにもなりませう。夫れが貴方の唯一の希望ですか。』

『左樣です、今日の私としてはドコ迄も此の世に強く生きることが希望であります。』

『世のため人のために盡すのは人間の美德として稱讃すべき事です。が併しそれは人間として誰しも當然爲すべき道德です。眞の希望は尚ほその他にある筈です。』

『イヤ私としては此の場合どうしても此の世に強く生きたいのです。』

石橋君は斯う云つて一言一句毎に語尾に力を入れる。私は彼が飽までも他の同情を得て幾分なりとも自己の罪を輕くしやうと斯う思つてゐるのではないかと考ねた。

『君は基督敎の話を聽いたことがありますか。』

『ハイ二三度牧師の說敎を聞きました。聖書も此處に來てから每日讀んで居ります。』

『聖書は何處を愛讀します。』

『馬太傳が一番好きです。』

『キリストが十字架に懸りし時、どんな人が同時に殺されましたか、御承知ですか。』
『知つて居ります。二人の惡人共がキリストの左右に十字架に付けられて殺されました。』
『その時二人の惡人共はどんな事を申しましたか。』
『一人はキリストを罵り、一人は主よ爾國に來たらんとき我を憶ひたまへと申しました。』
『この二人の内で君は何れが善いと思ひますか。』
『勿論、後の人が善いと思ひます。』
『左樣、左樣、君の言はれる通りです。その時キリストは後の人に對つて、今日爾は我と偕にパラダイスに在るべしと申されましたらう。』

この時私は飽までも彼に基督の福音を宣傳して彼を慰めやうと決心し、

『この言葉をお考ねなさい。眞の希望といふのは夫れです。その外にありません。君は自分の對照として社會とか人間とかを見て居られるが、先づ先一に神を見なければなりません。神を見ずして人のみが見ねる時は君のやうな考ねが起きるものです……。』
『……………。』
『君が人のため世のために盡すといふ、夫れは前にも申す通り人間の美德ですが、併し眞の奉仕といふものは聖化された良心の叫びから現はれたものでなければなりません。』
『併し君は…うしても宗教を信ずる氣になれません。』

『それでは何うすれば可いのです。』
『神を信ずることです。永遠を信ずる事です。』
『併し私はどうしても宗教を信ずる氣になれません。』
『夫れは何故ですか。』
『田舍の爺さんやお婆さんのお寺參りや神詣でぐらゐ實に馬鹿氣切つた事はないです。先生はアレを見てどう思はれますか。私は寧ろ滑稽に感じます。』
何といふ亂暴な言葉であらう。卒直に斯ういふのは多少眞摯な所があるとしても場所柄も辨ねず己れの今の境遇も顧みない甚だしい暴言である。併し私はます〳〵冷靜に構ねて、
『お爺さんお婆さんの御詣りは結構ぢやありませんか。尠なくとも參拜する時のその人の心理狀態は實に純なるものぢやりませんか。私はその純なる心を愛します。』
『キリスト敎でも同樣ですか。』
『一體君は自分自身が今日如何なる境遇に在るかと云ふことを眞劍に考ねる必要はありませんか。他の批評よりも當面の問題が大切でしやう。』
私の此の一言に流石の彼も急に萎れ出し首を俛れて自己を見詰めて居た樣であつたが、
『私は何うして宗敎を信ずる氣になれないでせう。』

『君は自分から門を閉ぢて居るからです。今のやうな頑固な心、不遜なる態度、夫れを改めて眞面目に謙遜に神を求めなければ、何時までも宗教を信ずる氣にはなれません』

『…………。』

『一體宗敎は智識や理論で信ぜられるものではありません。精神的のものは精神的方面から理論や智識を超越して這入らなければなりません。』

『何うすればさう出來ます?。』

『先づ自己をお捨てなさい。』

『自己を捨てる——私は夫れが嫌なのです、個性を失ふのが何よりも嫌なのです。』

『自己を捨てると云ふことは、個性を失ふのではなく個性を聖化させる事です、自己を潔むる事です。即ち聖靈の火により邪氣を燒き盡して聖淨化された人間となる事です。』

『キリストを信ずればさうなられますか。』

『勿論、人は信仰により義とせられます、永遠の生命を得られます。天國は我が物であるとの確心が生すれば此處に初めて眞の希望が生じます。』

『けれども私はとてもキリスト敎徒になる資格がないと斷念して居ります。』

『それは如何なる理由ですか。』

この時彼は私の手にせる小型の聖書に目を付けながら、
『先生、鳥渡その聖書を貸して下さい。』
と言つて、私の手にせる聖書を手に取り、馬太傳第五章の二十節の所を指さし、
『先生、此の通り――我れ爾等に告げん。學者とパリサイの人との義きよりも、爾等の義きこと勝れずば必らず天國に往くこと能はず――と書いてあるぢやありませんか。私のやうな罪人が何うして學者やパリサイ人より勝れて居ませう。私は聖書の此の句を讀んだ時にハッと思ひ、さうして此の時から、キリスト敎にも全く斷念して居りました。』
成程これも一理である。世の多くの人には聖書を斯う解譯する者が多い。
『人は信仰により義とせらると云ふのが卽ち此の事です。キリストと共に十字架に上つた二人の惡人が卽ちその一例です。惡事の爲めに十字架に掛けられた罪人ですら、死の一瞬間前にキリストに縋りてその罪を赦され、さうして今日爾は我と偕にパラダイスに在るべしと救はれたのぢやありませんか。君も早く信仰生涯に入るやうにお心掛けなさい。』
『入りたいのですが何うしても………。』
『それは君の熱心が足らないのです。キリストは叩けよ開かれん求めよ與へられんと仰つたではありませんか。叩いて御覧なさい、開かれます。求めて御覧なさい、與へられます。』

『………………。』

『私は先刻貴君に面會しやうと思つて、門前に立つて眞面目にお願ひしたところが、嚴重なる鐵門が容易に開かれました。君も熱心に天國の門を叩いて御覧なさい、必らず開かれます。』

『若し開かれたら入れられましやうか。』

『勿論開かれたら入れられます、天國は君のものとなり、さうして君は救はれます。』

『本當に私は救はれますか？。』

『本當に救はれます。君が救はれる事によりて君のために犧牲となつた人の魂も救はれます。君の信仰生活に入ることがその人々の犧牲に意義ある事となります。』

『………………。』

彼は默して何の返詞もしない。私は暫らく凝ッと彼の顏を覗き込んだが、その容姿から見て、まだ心の中にいろ／＼な疑問を描いて居るやうに思はれた。尙も進んで語らうとしたが、時計を見ると大分時間が經つて居るので、官の特別ある便宜に甘んじて長座するのは氣の毒である、と考へて

『何時までも斯うしてゐては附添ひのお役人にお氣の毒ですから私は之れでお別れします。私は別れに際して君に一言しますが、私と君と斯うして語り合ふことの出來たのも偶然ではないと思ふ。私をして君を訪はしめたのも神の攝理かも知れない。私はこの後必らず君の爲めに祈ります。吾が敎會の牧師にも話し

ます。私の家族のものにも此の事を話して一同で君のために祈ります。君も早く信仰生涯に入り、清き人間となり、さうして法律の審判にお服しなさい。』

『難有う存じます。』

『夫れから君の爲めに（信仰に入るの道）といふ書物とその他二三の小册子を分監長までお預けして置きましたから、夫れを好く讀んで下さい。それではもうお別れいたします。』

見る／＼石橋君の顏には熱い血潮が湛ふて來た。俯向いて手を膝の上においては居るが双の眼には涙が溢れて居た。彼は私の立ち上るのを見て、

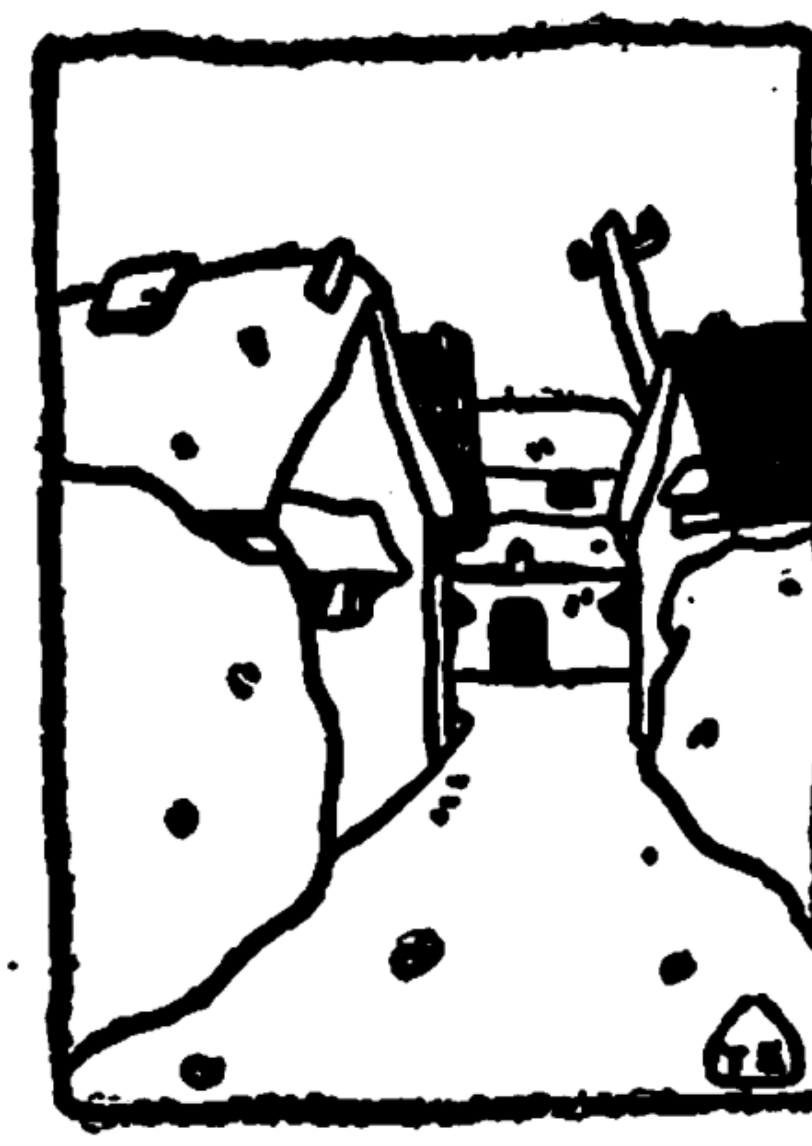
『先生、何うか先生の御名前を……。』

『私の名前、直接名刺は上げられませんから、お役人の方にお頼みして行きませう。』

私は一葉の名刺を取出して看守に託しさうして接見室を出た。振返つた彼を見ると、彼は二名の看守に護られて深編笠を被りながらシヨンボリと監房の廊下を辿つて行くのであつた。

鐵門を出で大地に一歩を踏んだ時、私の頭に電光の如く斯んなことが浮んだ。

人影の存する所、必らず其處に社會がある。人類の棲む所、必らず其處に犯罪がある。殊に社會の進歩と共に智識犯人の增加する傾きがある。之れ吾々社會人たるものゝ考ふべき點ではあるまいか。石橋君が死刑の宣告に不服なのも其處に何等かの理由がなければならぬ。



月下の挌闘

井上葉吉

月のいゝ初夏の一夜である。

梢をわたるそよ風に、銀色にかゞやく林檎の葉がさわ〱と鳴る。西の山の端で女性の星が一つ、殆んど消ね入るばかりに明滅した。

男は漸く我に返つた。ばた、ばた、ばた――乾いた土を踏む草履の音が、男のゆらめく魂をひつ掴む。彼は初めて女と七八間も離れて歩いて居ることに氣がついた。

男はふうと息（いき）を吐いて立止まる、と、女は心持ち小走りに男に追ひ縋る樣に近づいた。

『…………』男は女を見る。

『…………』女も男を見返した。

街からは、大分距たつて居ることを二人（ふたり）は瞭（はつ）きり知つた。街の音響と云つては、時々コーナを軋る電車のかすかな音が届くのみであつた。

男と女は、ほゞ並行して歩いてゐた。男は太く逞ましい眉の間に深い縱皺を寄せ、澁面つくつて正面に歩いて行く。女はちらとそれを見上げた。男の幅廣い肩に藁屑がくつゝいてゐるのを女は見た。さつきあの男とその激しい格闘の時ついたものであらう。女はそれを拂つてやらうとして男の顏を見たのであるが、男のその澁面につきあたると、その優さしい心遣りを無駄にせねばならなかつた。女はそれが悲しかつた。常日頃から數々の心をこめた優しい表現もこの男の氣むらさは更に受入れ樣として呉れない。況してや今夜はあの格闘のあとである。男はまだ亢奮の極に彷徨ふているのだ。男はさつきから、あの男をうち負かして、かうして女をこゝまで連れて來る間、まだ何一つ口をきかないのであつた。

あの男であつたなら――女はこの男に、ついいまさつき打ちのめされた別な男のことを、ぼんやり頭に浮び上がらした。弱く、美しい一人の女性を、獨占し守護すべく二人の男が、あんなにも勇敢に格闘する狀は女に異常の快感と恐怖を覺ねしめた。生れて初めて知る男性の單一さ率直さは、恐ろしいながらも、息づまる快感をいなむことがどうして出來よう――。

これが若しあの男であつたなら――この男が打ち負かされて、あの男に斯うして連れられて行くのであつたなら、と女は考へる。――もしそうであつたら、あの男はきつと感極まつて泣くであらう、神樣に感謝したであらう。そして自分を抱擁して、何かと柔しい言葉の數々をかけて呉れるに違ひない。自分一人を中心に二人の男の間に起つた火の樣に熾烈な爭闘のこの三年間、あの男は、いつも變らない愛の表示をして呉れた

言葉に、行動に、いつも優しくいたはつて呉れた。それだのにこの男は、ついぞ一言半句たりとも情ある言葉を與へては呉れなかつた。自分はあの男を想つてゐた。あの男の眞情に幾たび泣かされたことであつたらう。あの男は自分の言ふ通り何でもいなみはしなかつた。それこそ、一番大切な命でも捧げて呉れなくはなかつたであらう。が、自分は遂に、あの男のそれ程切なる戀をも受入れなかつた。情にほだされゝばほだされるほど、どうしてもあの男に一生を捧げる氣になれなかつた。あの男の火の様な情に觸れる度毎に、この暴虐な獸のやうな男に自分の心は傾いて行つた――。

あの男と自分――自分とこの男――自分に虐げられながらも自分を愛しつゞけて呉れたあの男の心持ちは今やつと分つた樣だ。それは今の心持ちそのものであつたから。處が自分は今、あんなにも自分を虐げ續けるこの男を、どうかして放すまいと縋りついてゐるではないか――。

だが、この男が相手の男を打ちのめしたのは戀のためではなかつた。自分を愛する切なる心からではないのだ。この男には、たゞ爭鬪が面白かつたのだ、腕の力が信じたかつたのだ、愛の力と腕の力と、いづれが最後の勝利を得るか、それが試して見たかつたのだ。――神が惡魔を征服すると云ふことはない。惡魔は惡魔、神は神だ、その強い方が征服し支配するのだ。人生行路の勝敗は、たゞ腕の力に依つて決せらるゝ――常にさう信じ、さう放言して憚らないこの男は、今それを如實に體驗したであらう。果して自分はこの男のものになつて仕舞つたのではないのか――。

この男の何と傲慢不遜なことよ。そして何と男性らしく雄々しいことよ。もう自分はこの男の心のまゝである。あの男の前にあれだけ强く美しくさうして偉大であつた自分の驕慢さも、今この男の前には何といふみじめにあわれなものであることよ――。

ふと、傍を行く男が立止まつた、さうして其處の大きな林檎の根元の薄闇に、どつかと腰を下した。女は夢から醒めたやうにその傍に立つた。

男はポケットから煙草を取出して火をつけた。

『…………。』男は睨むやうに女を見上げて此處へしやがめと眼で命じた。女はおづ〳〵とためらひながら靜かに男の傍へ腰を下ろした。

『おい。彼奴は何樣したと思ふ？』

男は初めて口を切つた。

『…………。』女は一言も言はぬ。

『おい！』

『…………。』女は懼はれた樣に無言のまゝ男を見上げた。

『今、僕が訊くことに喫きり返答して吳れるだらうね、いゝかへ。』

何を云ひ出すか判らない男の心をはかりかね乍らも女は點頭く外なかつた。
『よろしい、承知だね、それでは早速だが今夜これから二人で逃げ出さう。』
女は何とも返答が出來なかつた。
『どうしたんだ。何故返事をしない。いやなのか、いゝのか、どつちだ。』
『………。』女は首を僅かに垂れた。
『よし、それでは承知だな。これから家に歸つてまごまごしてゐると、どんな所から手が廻るかも知れないから、それでは直ぐこのまゝ行かう。』
女は、つと顏を上げた。
『あのう………一寸待つて下さいな。』
『どうして？』
『家へは歸らなくつたつていゝけど、妾、このまゝでは困るわ………。』
男の眼がぎろりと闇に光る。
『このまゝで何故いけない。何の用事があるんだ？』
女は押默る。男は默した女の心から、何かを摑み出さうとして、女の顏色を覗ふ。
『何の用事があるんだ？　家の外にどんな重大な用事があるんだ？』

『でもこのまゝ行つて仕舞つては――。』

瞬間男はきつとなつた。樣子にも言葉にも一段と凄味が加はる。

『おい――君は、彼奴に許したことがあるんだな？』

女はぎくりとした。體こそ許しはしなかつたけれど、あの男のことを想つたことがないと、どうして云へ樣。あの男は初戀のみならずこの男の現はれる前から知己である。この男の不可思議な魅力さへなかつたなら自分はあの男の戀を疾くに受入れてゐたであらう。自から捨てた男に未練のあらう筈はないけれど、このまゝ旅立つて仕舞ふなら、たゞの一目でもいゝから逢つて行きたい、そして口では云へなくても心で詫を云つて別れたい――殊には、さつきあゝまで無慘に打ちのめされたのだから――。

そうした女の心持ちを、早くも見て取つた男の強い理智の光に、女は蝸牛の樣に縮まつた。

『おい、どうだ。そうだらう――一眼逢つて行きたいのだらう？』

黑い土の上に打伏した女は、その脊中に男の猛獸の樣な瞳を感じた。

『おい、彼奴がもし、死んでゐたらどうする？』

『………。』女は遂々欷歔いた。

『意氣地なし。何故心の儘に云へないのだ。云へよ、はつきり云つちまへつてば。』

男はさも憎々し氣に、猿臂をのばすと、なよ〳〵した女の肩を二三度小突いた。

女はきつと顏を上げた。淚が月にきら〳〵と光る。

『だつて餘り氣の毒です、このまゝ二人逃げて仕舞つては。』

『よし、よく云つた。君が考へればその通りだ。しかし僕はいやだよ。彼奴が死のふと生きようと、僕には何等の關係はないのだから。』

『貴郎はそうでも、妾は一言云つて置きたい事がありますーー一寸逢はして下さい。』

『いゝよ、それぢやあ逢つておいで。』

男は氣輕くそう云つたが、急に何か思ひついた樣に、

『それはそれでいゝとして、先刻の返答はどうした。ーー君は彼奴へ一度でも許したことがあるんだらう?。どうだ、はつきり返答したまへ。』

女はじろりと男を見た。

『あつたらあつたでいゝんだ、僕も男だ、今更ら逃げも隱れもしない。又、それに難癖つけて君を捨て樣とも云ふのではない。たゞ參考に聞いて置きたいのだ。』

『ーー妾はあなたのその疑ひを晴したいばかりに、あの方に一眼逢ひたいと云ふのです、だからあなたも一緒に來て下さるといゝのに。』

ーー女は恐ろしくきつぱり叫んだ。

と、男の言葉が急に、不良青年らしい痰呵に變つて來た。
『へん、うまく云つてらあ。あのでれ助なら、それで瞞ませるかしんねえが、おいらあ、へん、彼奴たあちつとばかり血の環りが違はア。見そくなうなよ。』
『…………餘りです、あんまりです。』
『ハハッハッ。またべそかい。田舍廻りの新派悲劇ぢやあるまいし、よせやい、みつともねヱよ。』と斯ういつて、男はかつと唾を吐いた。
『無理……、無理……。』
『無理、無理か。無理が通れば道理引つ込むかな――ハッハッハッ、、、。まあ何でもいゝや、早く行つて來な、おいらあ此處で待つてるから。』
『ぢやあ其處まで一處に行つて。』
『そいつあ御免蒙らう、おらあ泣き面が大嫌いだ、一人で行つて宜敷くやつて來るさ。』
女は首を襟に埋めてもう何も云はなかつた。默つて立ち上ると一寸亂れた髮を掻き上げる。二つの腕が白朧のやうに月を吸ふ。妖艶――。
それにつゞいて男もすつくと立つた。そして、つかつかと女に近寄つたかと思ふと、そのなよやかな五體を默つて力強く横に抱きかゝへた。

蛇の様なこの男の、不倫な衝動が、怒れる森の樹の様に、颯然と女の心を引きすへた。

女は眼を閉じて凝乎とした。男のいつもの狂暴が始まる――。

抱かれたまゝ身動きもしないで月光を浴びてゐる女のその顔――男はにたりと微笑して、やがて氷の如うに透き通つて美しいその唇へ接吻した――。

銃聲、二發、三發――。

――男は女を抱いたまゝ、樹を倒す如くうづくまる。

一分、二分――。

銃聲の起つた林檎の樹蔭から、逼ふ様にして現れた別な男――。

『小夜さん――。』

『あッ、う、うぬだ、な――。』

胸部に丸を受けた男のうなる聲がした。

『小夜さん――。』

狙撃した樹蔭の男はも一度呼んだ。

女は漸く顔を上げた。うたれた男に、あの狂暴な男に取縋りながら、樹蔭の男をきつと見据ゑた。一言もいはぬ。泣きもしない。が、その眼は強い復讐の念に炎ゑてゐる。

すべて音なし。うたれた男の呻き聲のみ、低く、この淸らかな月夜をふるわす。

男、女。――女、男――。

男――女――男。

月は地下の林檎の葉を銀色にかゞやかし、その銀色にかゞやいた林檎の葉は、深更に近い空氣のなかに露をじつとり含んで眠つてゐた。

女性の一つ星は消ゑ入るばかりに明滅した。

研究會の趣旨目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名並に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に拾回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以てこれに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

◎勞農露西亞の新經濟政策……在奉天、田村謙治郎氏著

◎朝鮮人の商業……朝鮮、總督府

◎時事年鑑（大正十四年）……東京、山方泰氏寄贈

◎禪密……（横山天然師著）

◎東亞事情彙報……大倉高商、東亞事情研究會

○○○○○

◎滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、日滿通信、地方經營（滿鐵地方部庶務課）、滿蒙、讀書會雜誌、海友、調査時報、滿鐵調査課）、滿洲建築協會雜誌、極東、滿洲技術協會雜誌支那研究、滿洲公論、無上道、聖德、滿洲經濟時報、關東新聞（以上大連）◎警察彙報、（關東廳警務局）◎大陸日日新聞、奉天新聞、奉天毎日新聞、滿蒙經濟新報（奉天）、◎調査彙報（長春商議所）調査時報（滿鐵哈爾賓事務所）◎大乘（上海）◎調査彙報（朝鮮總督府）、朝鮮地方行政、朝鮮及朝鮮人、京城日報、（以上京城）◎臺灣時報、臺法月報（以上臺灣）◎都市問題（東京市政調査會）、東洋、支那、愛國婦人、人道（以上東京）◎東亞經濟研究（山口）◎福岡日日新聞（福岡）

毎月一回發行

定價表

冊數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

普通號六拾錢、特別號七拾錢

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十四年八月一日發行

發行人　山田武吉

編輯人　大內四郎

印刷人　太田信三

印刷所　大連市大山通　小林又七支店

發行所（電話五四二六番）

滿洲社會事業研究會

大連市松山町五番地七號

振替口座大連一二三九番

會員諸君

本年の第三回總會は別に議すべき重要問題なかりしを以て之を開催せず第三回報告書を以てこれに代へ申候條此儀御諒承被下度こゝに爲念廣告致候也

大正十四年七月

滿洲社會事業研究會

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

活版、石版、寫眞版、凸版、凹版、アートタイプ、三色版、
電氣版、亞鉛版、木版等、諸製版印刷
和洋諸帳簿、製本、活字鑄造販賣、和洋紙並に印刷諸材料販賣

滿洲日日新聞社

大連東公園町　振替貯金口座大連六〇番

日刊

日滿通信

本通信の目的は滿洲の實狀及び眞相を内地に宣傳し同時に母國の事情を滿洲在住者に報道し以て其の相互の連絡協調を圖るに在り

本通信は植民地における通信界の權威なり、必要の場合は時々特別號を發行して迅速、正確、機敏に報道す、何人も見て鴻益あり

大連市佐渡町十八番地

日滿通信社

電話三七〇〇番

FC

福昌公司

大連市山縣通二一三番地

電話代表番號一七一番

輸出入

保險

倉庫

土木、建築

▲營業品目

◎東京製綱會社製ワイヤロープ、マニラロープ、ターロープ一手販賣

◎安川電機製作所電動機、發電機、變壓器、配電盤、其他附屬類一手販賣

◎米國ヴァキューム鑛油會社製車軸油、機械油、汽筒油、自動車油、其他各種滑油並にグリース類一手販賣

◎瑞典ＳＫＦ會社製ＳＫＦボール並にローラーベアリング一手販賣

◎丁抹サブロー會社製炭酸瓦斯式冷藏裝置請負

◎イングリッシュ、エレクトリック會社製電氣汽關車、ダービン發電機裝置其他電氣機械類

◎英國ジョン、アイ、ソーニクロフト會社製貨物用自動車、附屬品並に船用機器汽鑵一手販賣

◎日本皮革會社製鳳凰印ベルト一手販賣

◎日本化學工業會社製象印カーバイト一手販賣

◎米國ファイヤーストーン會社製各種タイヤー其他護謨製品類一手販賣

◎米國ヴィクター會社製蓄音器各種レコード並にアルバム類

◎歐米各種乘用貨物用自動車並に附屬品一式

◎金物、諸機械、米松其他木材アルコール、セメント麥粉

◎砂糖、米、海產物、洋酒、毛糸、其他各種洋雜貨類輸入販賣

◎ドロマイト、石灰石、花崗石、土砂採掘販賣並に煉瓦製造販賣

▲保險代理

◎豐國火災保險株式會社

◎大阪海上火災保險株式會社

◎日本共立火災保險株式會社

◎ゼノース、ブリチシ、エンド、マーカンタイル保險株式會社

大正十一年八月十五日第三種郵便物認可